

第2章

第6期幕別町総合計画の基本計画に 基づく評価

～ 基本計画第1章
「協働と交流で住まいる」

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
1

総合計画に基づく体系	節	1	国内交流や国際交流の推進
	主要施策	1	国内交流の推進
	施策の方向	1	埼玉県上尾市、神奈川県開成町や高知県中土佐町をはじめ、様々な地域との交流による連携を強化します。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

1-1-1-01	小学生国内研修事業

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
小学生国内研修事業派遣の実施（埼玉県上尾市）		○	
小学生国内研修事業派遣の実施（高知県中土佐町、神奈川県開成町）		○	
小学生国内研修事業受入の実施（埼玉県上尾市）	○		○
小学生国内研修事業受入の実施（高知県中土佐町、神奈川県開成町）	○		○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
小学生国内研修事業派遣児童数（埼玉県上尾市）（人）		5	
小学生国内研修事業派遣児童数（高知県中土佐町、神奈川県開成町）（人）		17	
小学生国内研修事業補助金（埼玉県上尾市）（千円）		340	
小学生国内研修事業補助金（高知県中土佐町、神奈川県開成町）（千円）		1,360	
小学生国内研修事業受入児童数（埼玉県上尾市）（人）	13		15
小学生国内研修事業受入児童数（高知県中土佐町、神奈川県開成町）（人）	34		35

○ 事業の推進状況

事業	小学生国内研修事業
現状と成果	小学生国内研修事業では道外へ埼玉県上尾市、神奈川県開成町及び高知県中土佐町から研修生を受け入れ、北海道、幕別町の歴史、生活、文化を体験してもらうことができた。
今後の課題	保護者の負担感が大きいホームステイの継続可否についての検討。
今後の対応	今後も、埼玉県上尾市、神奈川県開成町及び高知県中土佐町を研修先とし、北海道とは違った気候風土を直接肌で感じ、文化、生活の違いを学ぶとともに、その地域の方々と触れあうため、小学5、6年生を対象にした国内研修を行う。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
2

総合計画に基づく体系	節	1	国内交流や国際交流の推進
	主要施策	2	国際交流の推進
	施策の方向	1	国際性豊かな人材を育成するため、中学生の海外派遣や受入など交流機会の確保や体制づくりに努めます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

1-2-1-01	中学生・高校生海外研修事業

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
中学生・高校生海外研修事業派遣の実施		○	○	○
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
海外研修事業派遣生徒数（中学生）（人）	16	16	16
海外研修事業派遣生徒数（高校生）（人）	2	2	1
中学生・高校生海外研修事業補助金（千円）	4,410	4,160	4,165

○ 事業の推進状況

事業	中学生・高校生海外研修事業
現状と成果	中学生・高校生海外研修事業ではオーストラリア（キャンベラ市）の特異な自然にふれると共に、言語の違う人達とコミュニケーションを図ることで幅広い人間性の形成が行われた。
今後の課題	高校生の研修生の確保が必要である。
今後の対応	外国の生活や文化、教育などに触れる機会を提供する中で、語学や国際マナーを学び、将来、国際社会に貢献できる人材を育成するために、町内の中学2年生、高校1年生を対象とした海外派遣を継続して行う。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
3

総合計画に基づく体系	節	1	国内交流や国際交流の推進
	主要施策	2	国際交流の推進
	施策の方向	2	ホームステイの受入先や通訳の確保など、国際交流活動について、町国際交流協会や学校などへの支援を行います。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

1-2-2-01	相互交流事業によるホームステイ先の確保

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
相互交流事業による受入れ			○	
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
オーストラリアメルローズハイスクール研修生数（人）		12	
ホームステイ先件数（件）		11	
幕別町国際交流ホストファミリー助成（報償費）（千円）		120	

○ 事業の推進状況

事業	相互交流事業によるホームステイ先の確保
現状と成果	中学生・高校生海外研修事業では、オーストラリア（キャンベラ市）メルローズハイスクールと相互交流により生徒の受け入れを隔年で行っており、ホームステイ、学校体験などにより良い交流ができています。
今後の課題	派遣の際に、隔年での受入時のホームステイを義務付けを行っているが、諸事情によりホームステイが出来なくなった家庭が出た場合、受入先の確保が課題となる。
今後の対応	外国の文化や生活の違いを知るきっかけになる、あるいは英会話に親しみを持つといったメリットがあることから、ホームステイ受け入れ先の確保に努める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
4

総合計画に基づく体系	節	1	国内交流や国際交流の推進
	主要施策	2	国際交流の推進
	施策の方向	3	国際交流員を継続配置し、生きた英語学習を進めるとともに、外国の文化などについて国際理解を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

1-2-3-01	国際交流員の配置

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
国際交流員の配置		○	○	○
参考事項	国際交流員と連携し、生きた英語学習を進めるとともに住民の国際理解を図る。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
国際交流員数（人）	2	2	2

○ 事業の推進状況

事業	国際交流員の配置
現状と成果	国際交流員を2名配置しているほか、臨時英語指導助手を配置し小学校からの生きた英語学習を推進した。
今後の課題	将来的に、現在の国際交流員が退職される場合の対応と人員確保。
今後の対応	今後も、国際的公用語である英語を将来のために身に付けてもらうため、外国人の国際交流員2人を配置し、町内の小・中学校での英語の授業をサポートする。また、小学校の外国語教科化の対応のため、臨時英語指導助手を1人配置し、小学校の外国語の授業サポートを行う。

第2章

第6期幕別町総合計画の基本計画に 基づく評価

- ～ 基本計画第4章
「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
5

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	1	学習プログラムの体系化
	施策の方向	1	多様化、高度化する学習ニーズに応え、町民それぞれが自らに適した生涯学習の機会を得られるよう、ソフト、ハード両面の体制づくりに取り組みます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-1-1-01	生涯学習プログラムの体系化

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
生涯学習プログラムの体系化		○	○	○
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	生涯学習プログラムの体系化
現状と成果	生涯学習講座のニーズの把握と講師の確保を進めている。
今後の課題	ニーズに対応した体系づくりと、それを支える講師の確保。
今後の対応	指定管理者と更なる連携を図り、学習機会を充実させるとともに、生涯学習プログラムを体系化し、生涯学習を推進する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
6

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	2	情報提供の充実
	施策の方向	1	自己に適した学習を選択でき、学習機会、施設、指導者などの学習情報を提供するとともに住民自らが学ぶシステムづくりを進めます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-2-1-01	各種広報活動による情報提供
2-2-1-02	学校を通じた情報提供

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
広報掲載、ホームページ、新聞記事、防災無線による情報提供		○	○	○
学校を通じた情報提供回数（回）		3	3	3
参考事項	学習機会の情報提供はある程度行われているが、指導者や施設の情報提供は一部に留まっている。また、男性現役世代等の講座受講空白世代向け講座の企画と積極的な取り組みが求められている。			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	各種広報活動による情報提供
現状と成果	広報、ホームページ、新聞記事、防災無線などにより、生涯学習講座の情報提供が図られた。
今後の課題	きめ細やかな情報提供を実施する必要がある。
今後の対応	情報提供の時期を見計らって効果的な周知を行うとともに、公共施設に生涯学習コーナーを設置するなど、きめ細やかな情報提供により、多くの人たちに学習機会を周知する。

事業	学校を通じた情報提供
現状と成果	学校を通じてチラシの配付やポスターの掲示を行うことにより、児童生徒への情報提供が図られた。
今後の課題	より迅速で効果的な情報提供。
今後の対応	学習内容の対象年齢層に合わせて、情報提供を継続して実施し、効果的に周知を行う。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
7

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	2	情報提供の充実
	施策の方向	2	住民の多様なニーズに応えるため、相談体制の充実を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-2-2-01	生涯学習実施機関での相談受付
2-2-2-02	専門的な知識を有する職員の配置

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
相談業務の受付		○	○	○
生涯学習推進員の配置		○	○	○
参考事項	実際の相談は、当事者からの申出に対して個別に対応する方法をとっている。過去数年間では、概ね年間10件ほどとなっている。相談先が分からない方に対して相談先の情報を提供する必要がある。			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	生涯学習実施機関での相談受付
現状と成果	文化活動の拠点である百年記念ホールで、各種サークルの紹介や新たな講座要望について、随時相談を受けた。
今後の課題	相談先の情報などの周知。
今後の対応	引き続き各窓口で相談受けを行うことで、住民の多様なニーズに応え、相談先の情報提供に努める。

事業	専門的な知識を有する職員の配置
現状と成果	相談体制と情報提供の充実を図るため、生涯学習推進員の継続的配置を行った。
今後の課題	より専門的な知識を持つ社会教育主事の配置についての検討。
今後の対応	生涯学習推進員の継続的配置を行う。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
8

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	3	指導者・団体の育成
	施策の方向	1	生涯学習において知識や技能を有する人材の発掘や指導者の育成・確保を図り、指導体制の維持、拡充に努めます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-3-1-01	生涯学習リーダーバンク制度

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
生涯学習リーダーバンク登録者数		31人+14団体	29人+14団体	29人+14団体
参考事項	生涯学習リーダーバンクは、芸術、文化、一般教養のほか、スポーツやレクリエーションなどの資格、技能、経験を有し、各種活動を指導していただける町民（個人・団体）を登録している。			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	生涯学習リーダーバンク制度
現状と成果	幅広い人材の確保が図られたことにより、指導者の活用等、生涯学習推進の一助となった。
今後の課題	更に利用を高め、登録種類の充実を図る必要がある。また、人生学博士（福祉部門）の制度もあり、町民にとってわかりずらくなっている。
今後の対応	新たなニーズに応えるために新規募集を推進すると共に、より利用しやすくなるように情報提供の方法や利用方法についても検討する。また、人生学博士との一元化等を検討する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
9

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	3	指導者・団体の育成
	施策の方向	2	民間も含めたさまざまな団体や組織、地域との連携を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-3-2-01	生涯学習関連団体との連携による新たな事業展開

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
生涯学習関連団体との連携による新たな事業展開		○	○	○
参考事項	生涯学習関連団体の連携は、百年記念ホール利用を契機として、職員の橋渡しにより次第に発展しつつある。			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	生涯学習関連団体との連携による新たな事業展開
現状と成果	生涯学習関連団体の連携により、お互いの持ち味を生かし事業協力を行った。
今後の課題	生涯学習関連団体との連絡調整。
今後の対応	文化団体、スポーツ団体、学校関係のほか、NPO法人やしらかば大学など、お互いが連携することで、事業の充実を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
10

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	3	指導者・団体の育成
	施策の方向	3	自主・自立学習の推進を図るとともに生涯学習関連団体、サークルの育成を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-3-3-01	生涯学習関連団体の育成
2-3-3-02	新規サークル設立の支援

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
生涯学習関連団体自主・自立数（団体）		12/13	12/13	12/13
サークル設立数（把握分のみ）（団体）		1	0	1
参考事項	事務局を団体で行うことにより、自主的に活動を行っている。但し、状況により自主的運営が出来ない団体については、引き続き委員会が事務局を担い、活動を支えながら人材の育成を行っている。現状ではほぼ自立は完了していると思われる。新設サークルについては、設立まで委員会がお手伝いをし、その後は自主的に活動を行っている。			

○ データ

■ 生涯学習関連団体

団体名	事務局が委員会以外	団体名	事務局が委員会以外
複式教育研究会	○	ふるさと館事業委員会	×
P T A 連合会	○	地域生涯学習推進委員会	○
子ども会育成連絡協議会	○	幕別小中高 P T A 連絡協議会	○
町民芸術劇場	○	札内地区生徒指導連絡協議会	○
文化協会	○	南幕別地域生活指導連絡協議会	○
体育連盟	○	忠類地区生徒指導連絡協議会	○
スポーツ少年団	○		

○ 事業の推進状況

事業	生涯学習関連団体の育成
現状と成果	関連団体は、ほぼ自立は完了しており、自主的に活動を行っている。
今後の課題	組織の役員のみ手がない、加入者が減少しているといった傾向が見られる。
今後の対応	将来を見据えた団体の人材育成や方向性に関する支援を行っていく。

事業	新規サークル設立の支援
現状と成果	生涯学習講座等を契機として、自主的なサークルの立ち上げを支援することができた。
今後の課題	自主的なサークル設立につながる新たな講座の検討が必要。
今後の対応	引き続き、百年記念ホールなどを通じて開催される生涯学習講座等を契機とした新たな自主的なサークルの立ち上げを支援する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
11

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	4	学習・活動機会の充実
	施策の方向	1	地域の統制や年齢階層などを考慮した多様な講座の開設や実習、展示会の開催など様々な学習機会の提供を図るとともに、誰もが参加しやすい体制を設けることで生涯学習への関心を高めます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-4-1-01	住民ニーズに対応した生涯学習講座の開催
2-4-1-02	青年のまちづくり活動への支援
2-4-1-03	生涯学習を通じた世代間交流の促進
2-4-1-04	しらかば大学の運営
2-4-1-05	大学等との連携による教養講座の開設
2-4-1-06	大学等との連携による青少年の体験講座の開設

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
生涯学習講座数（回）		45	47	54
生涯学習講座数（忠類）（回）		1	3	5
しらかば大学講座数		20回(40単位)	20回(40単位)	20回(40単位)
幕別町コミュニティカレッジ開催回数（回）		6	2	2
北海道科学大学出前講座開催回数（回）		5	2	2
青少年公開講座開催回数（回）		2	2	1
参考事項	地域の特性や年齢階層などを考慮した多様な講座などを開設し、さまざまな学習機会の提供が図れたとともにそれらを通して人的交流につながっている。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
生涯学習講座受講者数（人）	1,645	1,545	1,460
生涯学習講座受講者数（忠類）（人）	5	73	100
しらかば大学学生数（人）	171	170	172
幕別町コミュニティカレッジ受講生数（人）	27	93	160
北海道科学大学出前講座受講者数（人）	6	93	160
青少年公開講座（北海道工業大学共催）受講生数（人）	24	21	54
青少年公開講座（釧路工業高等専門学校共催）受講生数（人）	4	4	

○ 事業の推進状況

事業	住民ニーズに対応した生涯学習講座の開催
現状と成果	平成20年以降、百年記念ホールへの指定管理者制度導入に伴い、同ホール開催分は、指定管理者が企画・実施することになったが、生涯に渡り学べる環境の整備が行われている。
今後の課題	住民のニーズに対応した講座の開設が望まれる。
今後の対応	今後更に、百年記念ホールと教育委員会が連携を図り、生涯学習をより身近なものとするため、住民ニーズに対応した講座を開設し、町民の自発的な学習活動の支援を行っていく。

事業	青年のまちづくり活動への支援
現状と成果	青年のまちづくり活動のための学習機会（生涯学習講座等）の提供に至っていない。
今後の課題	学習機会（生涯学習講座等）の内容の検討と情報発信を行う必要がある。
今後の対応	将来を担う青年が、意欲的にまちづくりに参加できるような学習の機会を提供する。

事業	生涯学習を通じた世代間交流の促進
現状と成果	世代間交流の機会の提供に至っていない。
今後の課題	各世代が意欲的に生涯学習に取り組むことができる機会の提供が必要である。
今後の対応	若い世代との交流に関する情報提供を通じて、とりわけ高齢者を含め各世代が意欲的に生涯学習に取り組むことができる機会を提供する。

事業	しらかば大学の運営
現状と成果	町内の60歳以上を対象にしらかば大学を開設し、専門講座や教養講座などを行うことで、高齢者に対する学習機会の提供を行うことができた。
今後の課題	さらに多くの方が参加できるよう、情報の提供ときめ細かな対応が必要である。
今後の対応	しらかば大学の開設により、時代の変化に応じた知識や技能を身に付けるとともに、グループ活動を通して豊かな人間関係を養い、生きがいのある人生を支援するため、更なる情報の提供と、きめ細やかな対応を図る。

事業	大学等との連携による教養講座の開設
現状と成果	北海道科学大学と連携し、平成25年度から「幕別町コミュニティカレッジ」を開設している。
今後の課題	より魅力的な講座を提供し、受講生の確保を図る。
今後の対応	今後も北海道科学大学等との連携を通じてお互いの人的資源を活用することにより、新たな生涯学習講座を開設し、さらに多くの方が参加できるよう、情報の提供ときめ細かな対応を行う。

事業	大学等との連携による青少年の体験講座の開設
現状と成果	北海道科学大学及び釧路工業専門学校との共催により、児童・生徒が自らの手でものを作る楽しさを体験できる講座を開設し、理科（科学技術）への興味や関心と理解を深めることができた。
今後の課題	より魅力的な講座（どの学年の児童にも取り組みやすい難易度の設定など）を提供し、受講生の確保を図る。
今後の対応	今後も、大学等からの人的資源の提供により、町内の小学生を対象にした「ものづくり体験講座」を開設する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
12

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	5	施設の機能充実
	施策の方向	1	百年記念ホールや札内コミュニティプラザ、町民会館、忠類コミュニティセンターなど生涯学習施設等の機能充実を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

2-5-1-01	指定管理者制度導入の検証と検討
2-5-1-02	生涯学習施設の計画的修繕

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
指定管理者制度導入		○	○	○
参考事項	百年記念ホールの指定管理者制度導入について、平成19年度選定を行い、平成20年度より指定管理を実施した。また、札内スポーツセンター及び農業者トレーニングセンターについては、平成30年度に選定を行い、平成31年度より指定管理を実施する。他の施設についても、全町的な施設管理方針に従って検討を進める。			

○ データ

■生涯学習施設の指定管理者制度導入に関する基本方針

○指定管理者制度導入済み施設

- 百年記念ホール
- 札内スポーツセンター
- 農業者トレーニングセンター

○引き続き町が直接管理する施設

- 糠内公民館
- 駒島公民館
- まなびや相川
- まなびや中里
- 蝦夷文化考古館
- ふるさと館
- 集団研修施設こまはた
- 忠類野球場
- 忠類体育館

○今後、指定管理者制度の導入を検討する施設

- パークゴルフクラブハウス
- 運動公園野球場
- 運動公園陸上競技場
- 幕別町民プール他5箇所
- 依田公園野球場
- 札内川河川緑地野球場
- 忠類ナウマン象記念館
- 幕別町民会館

○ 事業の推進状況

事業	指定管理者制度導入の検証と検討
現状と成果	百年記念ホールについては、平成20年度より指定管理者の導入を行った。
今後の課題	事業や利用に係る連絡調整をこまめに行う。
今後の対応	各施設の設置目的と指定管理者制度を比較検討し、導入の可否を精査し、慎重に導入を進める必要がある。

事業	生涯学習施設の計画的修繕
現状と成果	平成25年度に幕別町百年記念ホール改修計画策定。平成26年度に幕別町民会館耐震改修工事実施。また、同じく平成26年度から、ふるさと館及び蝦夷文化考古館の改修を図るべく幕別町郷土文化資料館整備等基本構想（案）の策定に向けた検討を開始するなど、施設の老朽化及び耐震対応により施設の機能充実を図っている。
今後の課題	ふるさと館の所蔵資料の整理を進め、資料館の適正規模等を検討する。
今後の対応	全町的に生涯学習施設の老朽化が進んでいることから、施設のあり方や長寿命化の検討を図り、より安全・安心な施設の整備を進める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
13

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	6	図書館機能の拡充
	施策の方向	1	住民参画による図書館事業を行うための人材育成を図るとともに、町民を主体とする「図書館アドバイザー会議」などにより、図書館の機能強化に努めます。

担当課係名
図書館
図書係

○ 事業

2-6-1-01	地域情報の編集センター

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
情報発信をする人材養成の推進	○	○	○
ホームページを活用した地域情報コンテンツの充実	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
講座・ボランティア活動等への参加者数(貸出し以外の利用者数)	4,933名	4,073名	4,705名

○ 事業の推進状況

事業	地域情報の編集センター
現状と成果	幕別町図書館のさまざまな活動を担う、「まぶさLED」(まくべつBOOK サポーター/図書館エディター) 主催となり行ったオリジナルグッズ(図書館オリジナルキャラクタートートバッグ)の企画は、おかゆの会や中札内高等養護学校幕別分校、地元商店等も関わり、知の拠点である図書館と地域を結ぶ事業となり、地域の一体感の醸成が図られた。自分の視点と、自分の言葉で表現することを目的とした子ども向け文章講座を開催したが、自分で作った作品がAR(拡張現実)の紹介パンフレットに活用される形となり、ARのPRにも一翼を担った。
今後の課題	地域情報の収集・編集・発信。「まぶさLED」メンバーの活動機会の整備。
今後の対応	今後も、さまざまな活動を担う「まぶさLED」(まくべつBOOKサポーター)の活動を支援する。また、ARを活用し、様々な地域情報を入手可能なものにする事で、地域をより深く知るきっかけに繋げていく。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
14

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	6	図書館機能の拡充
	施策の方向	2	住民ニーズをとらえた特色のある蔵書や図書企画展示の充実に努め、個性や魅力のある図書館づくりを進めます。

担当課係名
図書館
図書係

○ 事業

2-6-2-01	読書の入口拡大、利用者サービスの向上

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
利用者の興味を引き出し、新たな本との出会いにつなげる手助け	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
移動図書館車の貸出冊数	33,391冊	32,979冊	32,825冊
図書資料蔵書点数	240,418点	244,303点	248,362点
特色ある図書館事業の実施	事業数24	事業数25	事業数26

○ 事業の推進状況

事業	読書の入口拡大、利用者サービスの向上
現状と成果	従来の蔵書分類法にとられない本棚づくりとバーチャル本棚により利用者の興味を引き出し、新たな本との出会いにつながる手助けをしている。各種講座や映画会・落語会・講演会・東部4町図書館交流連携事業・図書館向け疲労ストレス測定など、本や図書館に親んでもらえる行事を開催した。講座から発足した本の修理ボランティアには通年で活動していただいた。閉館による蔵書点検を行わないことで開館日数を増やした。
今後の課題	新たな本との出会いにつながる本棚作り。効率的な蔵書点検。
今後の対応	本棚づくり、新刊情報、月替り特別展示、おすすめ本の紹介など本棚とバーチャル本棚によって、利用者の新たな本との出会いを手助けする。新図書館システムによる蔵書点検の効率化。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
15

総合計画に基づく体系	節	2	豊かな人生を育む生涯学習の推進
	主要施策	6	図書館機能の拡充
	施策の方向	3	子育てや保健、福祉など様々な分野と連携した事業を展開し、図書館を核とした知の拠点づくりに取り組みます。

担当課係名
図書館
図書係

○ 事業

2-6-3-01	子ども読書活動の促進

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
学校図書館整備のサポート	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
幕別町子どもの読書活動推進計画 ※H30.4 第3期計画策定	○	○	○
移動図書館車の貸出冊数	33,391冊	32,979冊	32,825冊
マイファーストブックサポート実施状況	175名	173名	176名
特色ある図書館事業の実施	事業数24	事業数25	事業数26

○ 事業の推進状況

事業	子ども読書活動の促進
現状と成果	学校図書館の選書のアドバイス、本の登録業務の支援を行い、小学校の図書館ボランティアの活動支援を行っている。マイファーストブックサポート事業で7・8か月健診を受けた乳児とその保護者に絵本のプレゼントを実施している。子どもの読書環境づくりを後押しするため、移動図書館車による保育所・小学校等の巡回を行っている。読書活動推進のため、子どもの読書週間行事、秋の読書週間行事・人形劇等を開催した。ボランティアグループによる読み聞かせや紙芝居などの活動を支援している。1.5歳～3歳児向け貸出本セットの貸し出しを行っている。
今後の課題	読書活動につながる事業の展開。
今後の対応	読書活動につながる事業を工夫して展開する。乳幼児向け貸出本セットの充実。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
16

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	1	幼児教育の充実
	施策の方向	1	異年齢保育や預かり保育、満3歳児保育の充実を図り、多様化するニーズに対応した幼児教育を実践し、幼児一人ひとりの健やかな成長を育む教育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-1-1-01	異年齢保育の実施（わかば幼稚園）
3-1-1-02	預かり保育の実施（わかば幼稚園）
3-1-1-03	満3歳児保育の実施（わかば幼稚園）

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
異年齢保育実施園児数（年中児・年長児）（人）	34	24	26
預かり保育実施人数（人：延べ人数）	248	43	301
満3歳児入園者数（人）	7	4	4
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
わかば幼稚園の園児数（5月1日現在）（人）	47	36	37
わかば幼稚園の3歳児の在園児数（人）	13	12	11

○ 事業の推進状況

事業	異年齢保育の実施（わかば幼稚園）
現状と成果	同一年齢の園児との触れあい以上に「人と関わる力」を育むことができるように、4歳から6歳までの園児が同じ集団（幼稚園）の中で生活し教育を受ける「異年齢保育」を行い、発達過程に応じた社会性が醸成されるよう援助・指導している。
今後の課題	少子化や情報化など急激な社会変化による園児の生活状況の変容に対応した保育を実施する。
今後の対応	幼児個々の発達過程に応じた教育を実践しながら異年齢保育を継続する。

事業	預かり保育の実施（わかば幼稚園）
現状と成果	女性の社会進出の拡大などにより、幼稚園の教育時間終了後、引き続き保育を希望する保護者が増えており、この要望に応え平日の保育時間終了後に実施している。
今後の課題	預かり保育（延長保育）の需要の増加に対応する受入態勢の充実が課題である。
今後の対応	代替職員等の確保により受入態勢の一層の充実を図る。

事業	満3歳児保育の実施（わかば幼稚園）
現状と成果	3歳児に達した幼児が4月を待たず、年度途中から幼稚園に入園できる制度で、成長の著しいこの時期に集団での教育を受けることにより、社会性を醸成するなど、幼児の自立に成果を上げている。
今後の課題	満3歳児に対応する保育・受入態勢の充実が課題である。
今後の対応	保育内容の一層の充実に向け、代替職員等の確保により受入態勢の充実を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
17

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	1	幼児教育の充実
	施策の方向	2	幼稚園、保育所、小学校との交流連携を拡充し、共通理解を進め、連続性のある円滑な教育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-1-2-01	幼・保・小の連携

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
幼稚園・保育所・小学校の交流会の開催回数（回）		5	5	5
幕中ねっとの開催回数（回）		4	4	4
参考事項	幕別小学校において、わかば幼稚園の年長児と、幕別小学校1年生児童、中央保育所年長児童が交流会を継続して実施。平成19年以前はわかば幼稚園と幕別小学校の給食交流のみ実施。幕中ねっとでは、幼・保・小だけではなく、中、町、学童、委員会など幅広く関係者が集まり、情報共有を実施。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
わかば幼稚園の園児数(5月1日現在) (人)	47	36	37

○ 事業の推進状況

事業	幼・保・小の連携
現状と成果	交流会の開催などによる幼稚園や保育所、小学校との連携した取り組みを行うことにより、幼児期から小学校への教育活動の円滑な移行を進めるとともに、実態に応じた子どもの発達や学び、生活の連続性のある教育の充実を図った取組を展開できるよう促した。
今後の課題	幼児期から小学校の教育活動への円滑な移行を図るため、幼稚園教育の充実や小学校への入学時における学校のつまずきをなくすなど、より一層の連携を図ることが必要である。
今後の対応	幼稚園・保育所と小学校との連携に向けた取組を促進し、各地域の実態に応じ、子どもの発達や学び、生活の連続性を踏まえた教育の充実を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
18

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	1	幼児教育の充実
	施策の方向	3	就園奨励費補助事業や私立幼稚園入園料・保育料補助事業を実施し、幼稚園教育の振興や就園負担の公平化、保護者負担の軽減に努めます。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-1-3-01	幼稚園就園奨励費補助事業
3-1-3-02	私立幼稚園入園料・保育料補助事業

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
幼稚園就園奨励費の支給人数（人）	229	214	187
幼稚園就園奨励費の支給総額（円）	31,081,020	28,035,620	25,578,900
私立幼稚園入園料保育料補助金の支給人数（人）	77	74	72
私立幼稚園入園料保育料補助金の支給総額（円）	1,097,500	1,193,500	1,190,000
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
幼稚園就園奨励費の支給額（円：1人あたり）	127,381	131,008	136,786
私立幼稚園入園料保育料補助金の支給額（円：1人あたり）	15,243	16,128	16,528
学校法人十勝竜谷学園幕別幼稚園の園児数の推移（人）	170	163	150

○ 事業の推進状況

事業	幼稚園就園奨励費補助事業
現状と成果	幼稚園教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、幼稚園に在園する園児の保護者に対して、その経費の一部（入園料、保育料）を助成することにより、幼稚園教育の振興及び保護者負担の軽減を図っている。なお、公立幼稚園（わかば幼稚園）については、子ども・子育て支援新制度に移行していることから、平成27年度より対象外となっている。
今後の課題	引き続き私立幼稚園に係る保護者負担の実情把握に努め、負担の軽減に努める必要がある。
今後の対応	令和元年度10月からの幼児教育無償に伴い、本事業は終了となるが、新たな負担軽減策について調査していく。
事業	私立幼稚園入園料・保育料補助事業
現状と成果	私立幼稚園は、公教育の一翼を担っていることから、保護者負担の軽減を図り公立幼稚園との格差是正に努めており、幼稚園教育の振興に寄与している。
今後の課題	引き続き保護者負担の実情把握に努め、負担の軽減に努める必要がある。
今後の対応	令和元年度10月からの幼児教育無償に伴い、本事業は終了となるが、新たな負担軽減策について調査していく。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
19

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	1	幼児教育の充実
	施策の方向	4	教育環境を整えるとともに、教職員の研修を促進し、指導力の向上及び資質の向上に努めます。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-1-4-01	研修の充実（わかば幼稚園）

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
幼稚園教育関係研修の参加人数（人：延べ）	15	40	38
参考事項	近年参加した研修：北海道国公立幼稚園教育研究研修、十勝管内公立幼稚園園長研修、十勝管内幼児教育研修、十勝ADHD・LD研修、初任者研修、十勝教育研修センター講座		

○ データ

項目	H28	H29	H30
わかば幼稚園の教員数（人：臨時教諭を除く）	3	3	3
わかば幼稚園の園児数（人）	47	43	37

○ 事業の推進状況

事業	研修の充実（わかば幼稚園）
現状と成果	幼稚園教育における多様な問題に適切に対応する教員の資質・能力や指導力の向上を図るための研修などへの参加機会の充実を図っている。
今後の課題	幼児の多様な興味・関心、能力・適性や教育内容の多様化などに対応するため、教諭の果たす役割が極めて重要であることから、これらに対応した研修への参加を促し、教諭の資質・能力をより一層向上させていくことが求められている。
今後の対応	様々な教育課題に対応した実践的な教職員研修等を通じて、幅広い社会的視野に立った豊かな教養と実践力の向上を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
20

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	1	学習指導要領に基づき、子どもたちが社会の一員として自立し、時代に対応した力を養うため、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスが取れた生きる力を育む教育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-1-01	教育課程の充実・学習指導の充実

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
教育課程改善協議会の参加人数（人）		13	14	12
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか（小学校6年生）（%）	72.6	64.6	72.2
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（小学校6年生）（%）	73.0	66.5	82.1
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか（中学校3年生）（%）	71.1	62.8	65.5
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（中学校3年生）（%）	65.3	63.6	84.5

○ 事業の推進状況

事業	教育課程の充実・学習指導の充実
現状と成果	教育課程の編成・充実に関しては、教育課程研究協議会への参加を促進するとともに、個に応じた指導に関する教育の実践・研究を推進している。
今後の課題	平成30年度全国学力・学習状況調査において「自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という問に対し、肯定的な回答をした児童生徒（小6・中3）の割合は、いずれも8割を超えている。引き続き、創意ある教育課程の編成・実施、学習指導の工夫・改善を通じて、自ら学び自ら考え行動する力などの確かな学力の向上を図るとともに、社会に目を向け時代に対応した力を育んでいく必要がある。
今後の対応	新学習指導要領の実施に向けて、学力向上に関する取組や学校における授業等の工夫・改善をさらに促進し、小中一貫教育の実施にあたり、9年間を見通した創意ある教育課程を編成していく。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
21

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	2	幕別町の産業や文化などをまとめた社会科副読本の授業での活用や、地域の自然体験学習を通して、郷土に対する愛着と理解を深める教育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-2-01	社会科副読本の作成
3-2-2-02	体験学習の充実

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
社会科副読本「まくべつ」を活用している小学校（校）	9	9	9
教育課程における自然体験学習の実践校数（校）	14	14	14
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
社会科副読本の作成冊数（冊）	900	0	140

○ 事業の推進状況

事業	社会科副読本の作成
現状と成果	小学校3・4年生の社会科副読本として、幕別町の産業や文化などをまとめた「まくべつ」を幕別教育研究所の協力のもと、昭和47年より発刊している。
今後の課題	新学習指導要領の改訂に合わせて、社会科副読本「まくべつ」の改定を行い、郷土に対する愛着と理解を深める学習の充実を図ることが必要である。
今後の対応	社会科副読本「まくべつ」を必要に応じ改訂し、郷土に対する愛着と理解を深める学習の充実を図る。

事業	体験学習の充実
現状と成果	各地域のもつ特質を効果的に活かせるよう、指導内容の組み合わせや指導方法の工夫について指導助言を行っている。
今後の課題	地域の教育力や自然環境の活用を図り、地域の特性を活かした教育活動をより一層充実する必要がある。
今後の対応	地域の特色や自然環境をより一層活用した教育課程の編成・実施を促進する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
22

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	3	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活用とともに、学校評価に取り組み、地域の力を学校運営に生かし、社会に開かれた学校経営を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-3-01	開かれた学校経営の推進

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のある学園数	0	0	0
参考事項	平成31年4月1日から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条5に規定する学校運営協議会を設置。小中一貫教育に合わせて、各中学校区（学園）ごとに運営協議会を設置。		

○ データ

項目	H28	H29	H30
幕別町内の学校運営協議会委員数（人）	65	65	65
※ただし、評議員制度に基づく委員数			

○ 事業の推進状況

事業	開かれた学校経営の推進
現状と成果	学校評議員制度に基づく学校運営協議会を進めてきたことで、コミュニティ・スクール組織の基礎が出来ている。平成31年度より地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条5に規定する学校運営協議会を設置する。
今後の課題	コミュニティ・スクール制度の周知理解を図り、開かれた学校運営の推進を行っていく必要がある。
今後の対応	開かれた学校運営や小中一貫教育を推進するため、コミュニティ・スクールを中心として地域の協力を得ながらよりよい学校運営を図っていく。

○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5(学校運営協議会)

- ① 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校のうちその指定する学校の運営に関して協議する機関として、当該学校指定ごとに、学校運営協議会を置くことができる。
- ② 学校運営協議会の委員は、当該指定学校の所在する地域の住民、当該指定学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者その他教育委員会が必要と認める者について、教育委員会が任命する。
- ③ 指定学校の校長は、当該指定学校の運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について基本的な方針を作成し、当該指定学校の学校運営協議会の承認を得なければならない。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
23

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	4	学校 I C T 環境の整備・活用を図り、高度情報化に対応した教育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-4-01	教育用コンピュータ整備事業

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
児童用パソコン整備率（小学校）（人/台）		6.1	6.2	6.3
生徒用パソコン整備率（中学校）（人/台）		4.8	5.2	4.9
参考事項	○ 児童用パソコン整備台数225台（幕別小42台・糠内小10台・古舞小11台・明倫小6台・途別小8台・白人小43台・札南小40台・札北小40台・忠類小25台） ※うちタブレット160台（H27～導入） ○ 生徒用パソコン整備台数155台（幕別中40台・糠内中10台・札内中42台・札内東中40台・忠類中23台）※うちタブレット135台（H27～導入）			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	教育用コンピュータ整備事業
現状と成果	小中学校においては、全校で光ファイバー又はW i f i によるインターネットの接続が可能になっている。また、パソコン本体については学年のクラス人数分を基本に配備し、学校教育の情報化に向けた環境整備を図っている。さらに文部科学省が策定した「教育の I T 化に向けた環境整備 4 ヶ年計画」に鑑み、平成27年度より小中学校 P C 教室の P C をタブレット端末で整備した。
今後の課題	情報化の進展に伴い、電子メールによる誹謗中傷やインターネットや携帯電話などによる犯罪が増加していることから、児童生徒が情報を適切に取り扱うことのできる情報活用能力の向上や情報モラルの徹底が必要である。また、新学習指導要領によりプログラミング教育の導入が行われる等、今後益々 I T 環境整備が重要である。一定の整備を令和元年度で終えることから、次期に向けた計画の策定が必要となってくる。
今後の対応	平成27年10月に策定した町 I C T 環境整備計画が令和元年度で終了することから、次期計画の検討や必要な I T 教材の情報収集などに努め、今後も I T 環境整備の充実を図って行く。また、情報通信ネットワークの高度化や有害情報に適切に対応するための情報活用能力を育成するとともに、発達段階に応じて、情報機器を利用する際のルールやマナーなどの情報モラルを身に付けさせる取組を進める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
24

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	5	「まくべつ教育の日」を中心に、社会に開かれた学校づくりを行うため、子どもを真ん中に地域住民等との連携・協力関係を深めた教育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-5-01	まくべつ教育の日

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
まくべつ教育の日の実施校（校）	14	14	14
ノーテレビデー・ノーゲームデーの実施校（校）	14	14	14
携帯原話・スマートフォンルールの実施校（校）	14	14	14

参考事項	<p>○ まくべつ教育の日の趣旨(平成17年2月18日制定)</p> <p>①家庭教育の日＝もう一度家庭を見直そう。</p> <p>②地域教育の日＝地域社会の力を活かそう。</p> <p>③学校教育の日＝「来て・見て・知って」みんなで学校づくりを目指そう。</p>
------	--

○ データ

項目	H28	H29	H30
地域連携事業(活動)の実施校数（校）	14	14	14
ノーテレビデー・ノーゲームデーの実施率（％）	50.0	40.0	60.0
携帯電話・スマートフォンルールの達成率（％）	—	86.2	75.3

○ 事業の推進状況

事業	まくべつ教育の日
現状と成果	<p>次代を担う子ども達の教育に関する取組みを町民全体で進め、町の教育の充実と発展を図るため、毎月19日を「まくべつ教育の日」と定め、家庭・地域・学校の三者で教育に対する意識向上を図る。また、「まくべつ教育の日」をノーテレビデー・ノーゲームデーとし、テレビやゲームから離れて家族での団欒や勉強やスポーツの時間にするのを推進している。</p> <p>さらに、平成29年度から町PTA連合会、町校長会、教育委員会で作成した携帯電話・スマートフォンルールの確認を行う日として設定している。</p>
今後の課題	毎月19日が「まくべつ教育の日」であり、合わせて「ノーテレビデー・ノーゲームデー」の実施や「携帯電話・スマートフォンルール」を確認する日であることをより一層、町民広くに周知する。
今後の対応	広報活動の推進に努め、家庭と地域と学校が一緒になって子どもを育てていく環境の整備に努める。

※ 地域連携事業

- 幕別小学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日、地域交流事業
- 糠内小学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日、地域住民交流(糠内獅子舞)
- 古舞小学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日、農園活動
- 明倫小学校 「学校だより」の地域への配布、地域との交流活動(クリスマス集会・スキー学習)
- 途別小学校 「学校だより」の地域への配布、地域清掃活動、稲作体験
- 白人小学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日、地域オープン教室
- 札内南小学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日
- 札内北小学校 「学校だより」の地域への配布、校区住民による見守り活動
- 忠類小学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日、ナウマン太鼓伝承
- 幕別中学校 「学校だより」の地域への配布、老人会への校舎開放、地域文化団体の作品展示
- 糠内中学校 「学校だより」の地域への配布、地域人材活用(ゴルフ授業)
- 札内中学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日
- 札内東中学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日
- 忠類中学校 「学校だより」の地域への配布、地域参観日、老人会との美化活動

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
25

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	6	支援を必要としている児童生徒が、適切な教育を受けられるよう関係機関と連携し、それぞれに応じた適切な学びを保障する特別支援教育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-6-01	特別支援教育支援員の配置
3-2-6-02	就学指導委員会（教育支援委員会）の開催
3-2-6-03	特別支援教育就学奨励費扶助（国庫補助事業）

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
特別支援教育支援員の配置状況（人）（各年5月1日現在）	44	44	45
就学指導委員会（教育支援委員会）に諮問した児童生徒数（人）	70	51	52
特別支援教育就学奨励費扶助支給者数（人）	75	80	85
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
特別支援学級数（小学校）（学級）	40	39	40
特別支援学級数（中学校）（学級）	18	22	21
特別支援学級の児童数（人）	126	125	133
特別支援学級の生徒数（人）	37	45	48
特別支援教育就学奨励費扶助支給総額（円）	2,962,687	2,948,475	3,121,860

○ 事業の推進状況

事業	特別支援教育支援員の配置
現状と成果	学校において個別の支援を必要とする児童生徒の生活支援・学習支援を実施するため、平成20年度から特別支援教育支援員を学校の指導体制に応じ配置し、少人数指導やチーム・ティーチングなど、個別の支援を行っている。年々増加する特別支援教育支援員の確保と資質能力向上を図るため、平成23年度から研修を行っている。
今後の課題	障害の重度・重複化や障害に応じた専門的な自立活動の指導や医療的ケアなどの教育的ニーズの多様化に対応するため、医療・福祉等との関係機関と連携を図り、指導内容・方法の改善・充実を図る必要がある。
今後の対応	全校的な協力体制の下、医療・福祉等との関係機関と連携しながら、一人一人の障害の状況や発達段階に応じた支援の充実を図る。

事業	就学指導委員会（教育支援委員会）の開催
現状と成果	保護者の求めにより、一人一人の状態に応じ、学校・医療・福祉関係機関等の委員による適切な就学指導の実施に努めている。また、文部科学省からの通知等に基づき、早期からの教育相談・支援や就学後の一貫した支援についても助言を行う体制とするため、平成27年3月に設置条例の一部改正を行い、名称を「就学指導委員会」から「教育支援委員会」に改めたほか、所要の改正を行い、平成27年度から専門部会を設けるなど、よりきめ細かい指導・支援体制とした。
今後の課題	障害の重度・重複化や、できる限り身近な教育機関で教育を受けさせたいという保護者の希望がある一方、将来の自立につながるよう、専門的な教育を望む声があるなど、保護者のニーズの多様化などに適切に対応するため、保健・医療・福祉等との関係機関と連携し、早期からの教育相談・支援や就学後の一貫した相談支援体制を充実することがより一層求められる。
今後の対応	適切な就学指導が図られるよう、早期からの教育相談・支援や就学後の一貫した相談支援体制のより一層の充実を図る。

事業	特別支援教育就学奨励費扶助（国庫補助事業）
現状と成果	特別支援学校や小学校・中学校の特別支援学級等で学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じ、国及び地方公共団体が補助する制度を活用し、保護者の支援を実施している。
今後の課題	引き続き、保護者負担の状況把握に努める必要がある。
今後の対応	経済的理由により修学困難となることのないよう、保護者負担の軽減を図るとともに、事業の適切な運用に努める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
26

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	7	地域の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-7-01	特色ある学校づくりの推進

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
生きる力を育む創意ある教育活動支援事業実施校（校）		14	14	14
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
全国学力・学習状況調査で地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると答えた児童（小学校6年生）（％）	72.6	64.6	72.2
全国学力・学習状況調査で地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると答えた児童（中学校3年生）（％）	71.1	62.8	65.5

○ 事業の推進状況

事業	特色ある学校づくりの推進
現状と成果	特色ある学校づくりの推進については、特色ある教育活動支援事業、生きる力を育む創意ある教育活動支援事業などにより各学校を支援してきた。
今後の課題	地域の実情や児童生徒の実態等を踏まえ、引き続き、特色ある多様な教育活動を展開し、児童生徒が意欲的に学校生活に取り組むことができる、特色ある学校づくりの推進に努める必要がある。
今後の対応	今後は、コミュニティ・スクールの導入により、各学園ごとで地域との連携を図りながら、開かれた学校づくりとして各学園ごとの活性化や特色を生かした取組を促進する。

※ 生きる力を育む創意ある教育活動支援事業

- 幕別小学校 学年で行なうユータイム、4年～6年の縦割り活動で行なうユータイム、幕別調べ活動
- 糠内小学校 藍・綿の栽培、染物体験、茶の湯、自ら学ぶ糠内獅子舞、調べ学習、外国人との国際交流
- 古舞小学校 国際理解活動、食育(ソーセージ・うどん作り体験)、農園活動
- 明倫小学校 めいりん調査隊、めいりんレンジャー(ふるさと愛護活動)、国際理解活動
- 途別小学校 作物作りプロジェクト(水田・農園)、藍染体験、途別百年太鼓、田植え踊り
- 白人小学校 英語学習、高齢者とのふれあい交流会、地域探求学習、福祉体験
- 札内南小学校 南っ子まつり、校区内クリーン作戦、老健施設訪問、平和について考える学習
- 札内北小学校 サケ学習(飼育と放流)、治水のもり学習、北小まつり、環境づくり学習、人権教育
- 忠類小学校 忠類っ子タイム(学年/全校活動)、英語活動、農業体験学習、七夕集会、クリスマス集会
- 幕別中学校 校外体験、職業体験学習、ボランティア活動、壁新聞製作、調べ学習
- 糠内中学校 国際理解活動、職業体験学習、ボランティア活動、地域の歴史・文化調べ、介護体験
- 札内中学校 地域交流活動(野外演奏会、老人ホーム訪問)、地域行事への参加、体験活動
- 札内東中学校 体験学習、調査学習、ボランティア活動、壁新聞作成、外部講師講演会
- 忠類中学校 自然体験学習(カヌー・炊事)、異文化理解活動、地域学習、スキー学習、和太鼓

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
27

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	8	教職員の研修を促進し、指導力の向上及び資質の向上に努めます。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-8-01	研修の充実

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
十勝教育研修センター研修講座の参加状況（人）	69	77	78
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
初任者研修（人）	9	12	13
中堅教諭等資質向上研修（H28までは10年経験者研修）（人）	2	3	10
教育課程改善協議会（人）	13	14	13
道立教育研究所の研修講座（人）	8	3	4
学校教育アドバイザーの設置（人）	2	2	3

○ 事業の推進状況

事業	研修の充実
現状と成果	学校教育における多様な問題に適切に対応する教員の資質・能力や指導力の向上を図るための研修などへの参加機会の充実を図っている。
今後の課題	児童生徒の興味や関心、能力、適性などが多様化している他、新学習指導要領では今までに教員が経験していないことを求められることが多く、これらの課題に対応することが求められることから、小中学校教員の資質の向上や指導力の向上を図るため、これらに対応した研修への参加を促し、教諭の資質・能力をより一層向上させていくことが求められている。
今後の対応	様々な教育課題に対応した実践的な各種研修や、小と中の教員間の合同研修を通じて、幅広い社会的視野に立った豊かな教養と実践力の向上を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
28

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	9	いじめ、不登校、虐待などに適切に対応するため、教育相談体制を充実するとともに、学校・家庭・地域の連携を図ります。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-9-01	スクールカウンセラー活用事業・スクールソーシャルワーカー活用事業
3-2-9-02	いじめ問題等対策委員会（いじめ対策推進委員会）
3-2-9-03	子どもサポーター配置事業
3-2-9-04	組織的・計画的な安全管理の体制

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
スクールカウンセラーによる相談件数（件）	508	476	252
いじめ問題等対策委員会（いじめ対策推進委員会）の活動内容	・対策に係る情報交換 ・標語の募集	・対策に係る情報交換 ・標語の募集	対策に係る情報交換
まっく・ざ・まっく（SSW含む）による相談件数（件）	1,087	1,559	1,832

○ データ

項目	H28	H29	H30
いじめの認知件数（小学校）（件）	15	2	1
いじめの認知件数（中学校）（件）	0	4	1
不登校の件数（小学校）（件）	5	10	5
不登校の件数（中学校）（件）	25	31	31

○ 事業の推進状況

事業	スクールカウンセラー活用事業・スクールソーシャルワーカー活用事業
現状と成果	北海道が任用している、スクールカウンセラーを配置し、平成29年度からは2名体制で児童生徒、保護者へのカウンセリングや教員等との相談を行っている。また、児童生徒を取り巻く環境の問題が複雑に絡み合っている状況を踏まえ、平成24年度からスクールソーシャルワーカーを配置し、効果的に支援できる体制整備の強化に努めるなど、まっく・ざ・まっくにおける教育相談体制の充実を図っている。
今後の課題	情報社会が進展し、子どもたちの間で電子メールや掲示板による誹謗中傷等の「新しいいじめ」や出会い系サイトの利用による被害等が増加し、大きな社会問題となっており、情報モラルの指導や有害情報への対応の促進が必要である。
今後の対応	いじめや不登校等の解決に向け、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置を継続し、教育相談体制の充実を図る。
事業	いじめ問題等対策委員会（いじめ対策推進委員会）
現状と成果	いじめの未然防止等に向けた児童生徒や保護者に対する啓発活動や関係機関と連携した取り組み等を実施し、課題解決に努めている。なお、平成26年度から設置したいじめ防止対策推進協議会により、いじめ防止等に係る取組を強化し、事業を展開している。
今後の課題	いじめの未然防止等に向けた既存の取組の推進とその成果の普及啓発が重要であることから、引き続き、いじめ防止等に係る取組を展開する必要がある。
今後の対応	学校・家庭・地域・関係機関などと連携を図り、いじめから児童生徒を守る取組を推進する。
事業	子どもサポーター配置事業
現状と成果	平成22年度から町単独事業による子どもサポーターを配置しており、平成23年度には2人体制、平成25年度には3人体制に拡充し、不登校児童生徒などへの相談対応、カウンセリング及び学習支援等を行っている。
今後の課題	相談対応を希望する児童生徒の増加に対応できる体制整備の充実を図る。
今後の対応	いじめや不登校等の解決に向け、学校、家庭、地域及び関係機関などと連携を図るべく、教育相談体制の充実を図る。
事業	組織的・計画的な安全管理の体制
現状と成果	スクールガードを配置し、不審者情報がある場合には重点的に巡回をしてもらい、各学校を始め、関係各所へスムーズな連絡体制を構築しているなど、学校安全・保健計画に基づく組織的な安全管理の推進を図っている。
今後の課題	近年、不審者情報が多く寄せられていることから、迅速かつ適切に対応できる体制づくりが必要である。
今後の対応	児童生徒の安全安心を確保する体制づくりを、より一層強化する。また、スクールガードが使用する車に、青色防犯灯を設置するなど既存の対策をより強化していく。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
29

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	10	体験活動などを通じて、「食」に関する知識と正しい食習慣を身に付け、健全な成長を育む食育を推進します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-10-01	農業体験塾事業
3-2-10-02	町立学校食育推進事業

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
農業体験塾参加人数（人）	16	21	23
食育推進事業参加校数（校）	3	4	4
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
農業体験塾調理メニュー（種類）	3	2	2

○ 事業の推進状況

事業	農業体験塾事業
現状と成果	本町の基幹産業である農業について、子どもたちに農作業体験を通じて農業の大切さを実感してもらうことにより、より身近に感じてもらい、将来、農業の実践者・応援者として活躍する人材に育ててもらうこととともに、農作物の加工体験等を通じて食の安心・安全に興味を持ってもらうことを目的として事業実施している。（事業主体は、農林課）
今後の課題	開始から10回目を数え、事業が定着化が図られてきているが、一方で開催時期の設定により収穫作物の種類が同一化されている。また、加工体験では、小学生低学年の参加者には調理の関係で難しい部分もあり父母同伴による補助が必要である。
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報まくべつによる事業の周知 ・ 各学校に参加者募集のPR

事業	町立学校食育推進事業
現状と成果	学習指導要領並びに食育基本法に定める食育推進の運動等に鑑み、平成25年度から町立学校において本事業を実施している。農協及び農協青年部の協力の下、児童等が農作物の収穫体験等や酪農体験を通じ、町で生産されている農産物について理解を深めるとともに、安全でおいしい食材の提供に対する感謝の気持を育むことを目的に実施している。
今後の課題	事業の性格上、農繁期での実施となることから内容及び時期等について、各学校と農協・農協青年部との調整及び連携を図り、大掛かりな事業ではなくとも効果があるような仕組みづくりが必要である。
今後の対応	各学校及び農協・農協青年部の理解及び協力を得て、事業を継続していくことができるよう取り組む。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
30

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	11	安全な給食の提供をするため、食器や機材などの整備を進めます。

担当課係名 学校給食センター 業務係

○ 事業

3-2-11-01	給食配送車更新事業
3-2-11-02	給食用食器更新事業
3-2-11-03	給食用機材更新事業

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
給食配送車更新				
給食用食器更新（枚）			どんぶり3,000枚	小皿3,000枚
給食用機材更新		連続揚物機		スチームコンベクションオーブン
参考事項	【幕別】給食用食器の更新は、汚れや破損等により随時実施している。（H30年度に小皿を全部更新） 【忠類】給食用食器の更新は、汚れや破損等により随時実施している。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
【幕別】給食配送車			
【忠類】給食配送車			
【幕別】給食用食器（年間交換枚数）（枚）	0	3,000	3,000
【忠類】給食用食器（年間交換枚数）（枚）	0	0	0

○ 事業の推進状況

事業	給食配送車更新事業
現状と成果	【幕別】現在の給食配送車は平成10年購入が2台、平成14年購入が1台、平成17年購入が1台の計4台で稼働している。 【忠類】現在の給食配送車は平成6年3月に購入（1台）し、20年以上使用している。
今後の課題	【幕別】配送車の4台ともに10年以上経過しており、計画的な更新が必要である。 【忠類】走行距離は7万kmであるが、20年以上使用しており、今後更新が必要になってくる。
今後の対応	【幕別】前回更新からの経過年数、車両の状態を一つの基準として、計画的な更新に努める。 【忠類】更新が必要ではあるが走行距離が少ないため、車体の状況をみながら更新時期を検討する。

事業	給食用食器更新事業
現状と成果	【幕別】毎日の洗浄や各学期終了後の洗浄・漂白で、破損や汚れが目立つ食器は随時交換して来たが、平成30年度は「小皿」の更新を行った。 【忠類】強化磁器を使用しており、破損した場合に随時交換している。
今後の課題	【幕別】食器の半数は交換したが、週に1回程度しか使用しない「カレー皿、小皿」についても使用年数が経過しているため計画的な更新が必要である。 【忠類】食器の交換は随時行っており、特に課題はない。
今後の対応	【幕別】「カレー皿」についても年数が経過しているため計画的に更新する。 【忠類】今後も破損した場合等に随時交換を行う。

事業	給食用機材更新事業
現状と成果	【幕別】平成23年度連続炊飯システム、平成25年度食器洗浄機、平成27年度食缶洗浄機、平成28年度に連続揚げ物機の更新を行っている。 【忠類】耐用年数の切れた機材を計画的に更新している。
今後の課題	【幕別】スライサーの更新時期を迎えるので更新が必要である。 【忠類】今後も耐用年数の切れる機材がある。
今後の対応	【幕別】スライサーを更新する。 【忠類】今後も耐用年数の切れる機材を計画的に更新する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
31

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	12	健やかな成長に資する給食の提供に努めるとともに、地域の食材を生かした給食の充実を図ります。

担当課係名
学校給食センター
業務係

○ 事業

3-2-12-01	地場産食材活用事業

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
地場産食材活用事業（千円）		6,375	6,667	5,218
参考事項	地場産食材としては、じゃがいも、たまねぎ、アスパラ、にら等があります。 平成20年6月に、町と町内3農協が協定（地産地消と食育に関する協定）を結びましたので、じゃがいもは全量幕別町産を使用しています。 平成21年度からは、幕別町が地場産食材の購入に対し、一部負担をしています。（平成26年度からは1食当り8円） 町のホームページで、前月の給食写真を掲載する際に地場産食材については、献立を赤く表示し地場産食材を使用したことを明記している。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
地元野菜の使用割合（幕別産）（%）	39.6	35.0	34.5
〃（十勝・道内産）（%）	25.5	26.9	24.0
計（%）	65.1	61.9	58.5

○ 事業の推進状況

事業	地場産食材活用事業
現状と成果	野菜の納入にあたっては、幕別町産を使用するよう指定しており、幕別町が地場産食材の購入について一部負担をしているので、さらに子ども達に町内産の良さや旬の時期・旬の味について理解を深める。
今後の課題	既定の給食費及び町負担で賄うために町内産野菜の使用量に限りがある。
今後の対応	地産地消に努め、幕別町産食材の使用を図り、子ども達により一層の地場産の良さと旬の時期・旬の味を伝えるように努める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
32

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	13	小中学校が目指す子ども像を共有する義務教育9年間を通した小中一貫教育を推進し、ふるさとに誇りを持つ子どもを育みます。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-13-01	小中一貫教育先進地視察研修
3-2-13-02	幕別町小中一貫教育等推進会議の開催

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
不登校生徒数（人）	25	31	36
いじめ認知件数（件）	15	4	2
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
児童生徒数の推移（人）	2,270	2,230	2,178

○ 事業の推進状況

事業	小中一貫教育先進地視察研修
現状と成果	教育委員会職員及び幕別町小中一貫教育等推進会議委員が、道内先進地6自治体を訪問し、多種多様な先進的取り組みを実際に見、聞いたことで幕別町で進めている小中一貫教育の参考となった。
今後の課題	幕別町の小中一貫教育は5つの学園それぞれが違う形態で地域の実情に合わせた取組を展開していることから、視察で学んだ良いところをどのように各学園の小中一貫に取り組んでいくことができるか、十分な検討が必要。
今後の対応	モデル学園の実施を行い、成果も課題も上がっていることから、町内での視察や情報共有も頻繁に行っていくことが必要。

事業	幕別町小中一貫教育等推進会議の開催
現状と成果	平成28年度から7回の推進会議の開催し、平成30年度には小中一貫モデル校を設置したことから、その成果と課題を各学園で情報共有し、今後の推進に繋げることが必要。
今後の課題	人事異動で他町村から異動してきた一般教諭への施策の意義と目的をどのように浸透させていくか。
今後の対応	令和元年度からの小中一貫教育の本格実施が始まるが、今後も改善を図りながら推進をしていく。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
33

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	2	小中学校教育の充実
	施策の方向	14	義務教育期間における保護者負担の軽減に努めます。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-2-14-01	就学援助扶助事業
3-2-14-02	中学校修学旅行費支援事業
3-2-14-03	全道・全国文化・スポーツ大会参加奨励金事業

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
就学援助受給人数（人）	434	404	361
中学校修学旅行費支援事業対象者数（人）	—	247	201
全道・全国文化・スポーツ大会参加奨励金受給者（個人）	576	548	478
全道・全国文化・スポーツ大会参加奨励金受給者（団体）	91	81	79
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
就学援助新入学用品費認定数（人）	—	76	49
中学校修学旅行費支援事業支給額（円）	—	8,107,870	6,963,651
全道・全国大会出場者数（人）	41	59	36
全道・全国大会出場団体数（団体）	8	7	10

○ 事業の推進状況

事業	就学援助扶助事業
現状と成果	経済的な利用により学用品や給食費の支払いが困難な世帯は一定数おり、就学援助支給により負担軽減を図り、義務教育の円滑な実施を行っている。
今後の課題	国の単価設定をに合わせて、各種費目の単価の増や卒業アルバム費の支給を含めて行っていくことが必要。
今後の対応	国の支給内容を見極めながら、その都度適切な改正を行っていく。

事業	中学校修学旅行費支援事業
現状と成果	義務教育期間における負担が大きい中学校の修学旅行費を補助することで、保護者の負担軽減に繋がっている。
今後の課題	負担額の推移などから適切な補助額としていくことが必要。
今後の対応	小学校の修学旅行への補助金も視野に入れた検討を行っていく。

事業	全道・全国文化・スポーツ大会参加奨励金事業
現状と成果	大会等への補助を行うことで、保護者の負担軽減にもつながり、子どもが活躍しやすい環境となっていることで、全道・全国への出場者も毎年多く輩出されている。
今後の課題	物価等の上昇に伴い、上限を超える負担が生じていることもあり、適切な単価設定が必要である。
今後の対応	補助を継続し、子どもたちの活躍の場を広げていく。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
34

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	3	教育施設の整備
	施策の方向	1	幼児・児童・生徒の推移など長期展望に立って、施設規模の適正化及び適正配置を検討し、学校施設の計画的な整備・改修整備を行います。

担当課係名
学校教育課
総務係

○ 事業

3-3-1-01	学校規模の適正化および適正配置
3-3-1-02	学校施設の整備

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
学校あり方検討会会議の開催（全体会議、部会）				
南幕別地区の適正配置に係る地域との協議				
札内北栄町等の通学区域に係る地域との協議及び説明				
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
学校施設の修繕料の実績（千円）	10,246	13,122	11,839
学校施設の工事請負費の実績（千円）	53,840	100,914	55,905

○ 事業の推進状況

事業	学校規模の適正化および適正配置
現状と成果	札内地区のうち北栄町等のいわゆる三角地帯については、小学校区を札内北小学校を指定校としているが、区域外通学の弾力的な運用により、近年は約8割の児童が札内南小学校に通学している。また、中学校区において、札内北小学校を卒業する児童は、札内東中学校を指定校としているものの、区域外通学の弾力的な運用により約7割の児童が札内中学校に通学している状況である。このことから、今後、特に札内中学校と札内東中学校の生徒数及び学級数に大きな差が生じ、学校運営上支障をきたす可能性があることから、平成24年度に開催した学校あり方検討会による審議等を踏まえ、平成26年度以降の三角地帯からの小学校入学は札内南小学校を指定校とし、札内北小学校へは区域外通学制度とした。また、中学校に関しては、原則、札内北小学校卒業生は札内東中学校を指定校としたところであり、さらに三角地帯からの中学校入学については区域外通学制度を継続することで決定した。平成25年度以降、検討会は開催していない。
今後の課題	児童生徒数の将来推移等に注視していかなければならない。
今後の対応	児童生徒数の将来推移、学級編制の見込み等を十分勘案し、必要に応じて検討や協議等を行う。
事業	学校施設の整備
現状と成果	学校施設については、幕別中学校を除く全ての小中学校が築30年を経過する施設であり、維持管理費が年々増加の傾向にある。このため、緊急度の高いものや学校要望を勘案しながら修繕及び工事を実施し、教育施設整備に努めている。
今後の課題	学校施設の老朽化に伴い、大規模な改修が必要な時期にある。特に給排水設備や暖房設備の機械設備については、修繕部品等の生産されていないため、修繕による対応が難しくなっている。また、外壁、屋根等についても相当年経過していることから、経年劣化による雨漏り等が数多く発生している。このことから、計画的な大規模改造事業等の実施が必要である。
今後の対応	緊急的に対応が必要なものは、その都度、補修を進めていくが、令和2年度に策定予定の長寿命化計画において、大規模改造事業等のように抜本的な整備が必要なものについては、計画的に実施していくものである。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
35

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	3	教育施設の整備
	施策の方向	2	教職員の居住動向を勘案し、教職員住宅の改修整備を行います。

担当課係名
学校教育課
総務係

○ 事業

3-3-3-01	教員住宅浴室改修工事
3-3-3-02	校長・教頭住宅断熱化工事
3-3-3-03	教員住宅戸数の適正化方針の策定

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
教員住宅浴室改修工事の実施（戸）		1		
校長・教頭住宅断熱化工事の実施（戸）				
教員住宅戸数の適正化方針の策定		○		
参考事項		教員住宅の浴室のシャワー化は毎年整備を実施し、現在、教職員が入居している住宅については完了した。		

○ データ

	要整備戸数	整備年次												未整備	整備率	
		H19以前	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30			計
青葉町	10	7	1	1		1								10	0	100.0%
文京町	4			2		1	1							4	0	100.0%
桂町	0													0	0	
北町	5		3				2							5	0	100.0%
緑町	16	11		2							1			14	2	87.5%
糠内	11	2				3	1	1						7	4	63.6%
途別	4					3								3	1	75.0%
明倫	4	1		1		1			1					4	0	100.0%
古舞	3		1			2								3	0	100.0%
忠類	14	14												14	0	100.0%
計	71													64	7	90.1%

○ 事業の推進状況

事業	教員住宅浴室改修工事
現状と成果	年間数戸の整備を行っているが、平成30年度は対象となる住宅がなかったことから実施していない（入居住宅はすべて整備済み）。
今後の課題	教職員の入居する住宅のシャワー化は完了したが、未設置住宅のシャワー化が今後の課題である。
今後の対応	現在シャワー未設置で空いている住宅について、今後教職員が入居する際には、その都度設置するように努める。

○ 事業の推進状況

事業	校長・教頭住宅断熱化工事の実施（戸）
現状と成果	年1戸の断熱化工事を実施していく計画である。
今後の課題	現在、年1戸の断熱化工事を計画しているが、14校全ての校長、教頭住宅を終えるためには20年以上の期間を有する。
今後の対応	断熱化工事が早期に終了するよう計画的な実施をする。

○ 事業の推進状況

事業	教員住宅戸数の適正化方針の策定
現状と成果	将来的な教職員住宅のあり方について、概ね10年間を見据えた適正化方針を策定（H28年度）
今後の課題	適正化方針に沿って順次、普通財産移管及び用途廃止に伴う手続きを行うとともに、残していく住宅のリフォーム、建替え等について検討が必要となる。
今後の対応	社会情勢等の変化により、見直しが必要となった場合は、随時見直しを行うこととする。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
36

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	4	高等学校教育・特別支援学校の支援
	施策の方向	1	各学校の特色を生かした特色ある学校づくりについて、支援を行うとともに、義務教育課程との連携を図ります。

担当課係名
学校教育課
総務係

○ 事業

3-4-1-01	郷土に根ざした特色ある学校づくりの支援

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
幕別高校生徒数（人）	104	73	63
江陵高校生徒数（人）	387	339	318
中札内高等養護学校幕別分校生徒数（人）		41	37
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
幕別高等学校教育振興会補助金（円）	1,950,000	1,650,000	1,650,000
江陵高校運営費補助金（円）	1,900,000	2,900,000	2,900,000
中札内養護学校幕別分校地域協力会補助金（円）		300,000	300,000

○ 事業の推進状況

事業	郷土に根ざした特色ある学校づくりの支援
現状と成果	郷土に根ざし、開かれた学校として町民に敬愛され、時代の変化や社会の進展に即応した特色ある教育活動が展開できるよう必要な支援を行っている。さらに平成27年度に幕別町後期中等教育を考える懇話会を設置し、町内高等学校における中・長期的な展望について必要な検討を行った。
今後の課題	特色ある教育活動の取組を充実するとともに、積極的な情報公開及び情報発信を展開する必要がある。
今後の対応	魅力と特色ある学校づくりを推進するため、引き続き必要な支援を継続する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
37

総合計画に基づく体系	節	3	「生きる力」を育む学校教育の推進
	主要施策	4	高等学校教育・特別支援学校の支援
	施策の方向	2	経済的理由により就学が困難な生徒を支援します。

担当課係名
学校教育課
学校教育係

○ 事業

3-4-2-01	修学支援資金交付金事業

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
修学支援資金交付金受給者（人）	38	18	27
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
北海道が実施する奨学給付金対象者	8	35	24

○ 事業の推進状況

事業	修学支援資金交付金事業
現状と成果	北海道が実施している奨学給付金は非課税世帯が対象となっており、町が修学支援資金を交付することで、保護者の経済的負担軽減につながっている。
今後の課題	国の単価設定をに合わせて、適切な金額設定を行っていくことが必要である。
今後の対応	国の支給内容を見極めながら、その都度適切な改正を行っていく。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
38

総合計画に基づく体系	節	4	青少年の健全育成の推進
	主要施策	1	青少年の健全育成
	施策の方向	1	家庭教育に関する学習機会を充実し、家庭内の教育力の向上を目指します。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

4-1-1-01	家庭教育を考える集い（町P連研究大会）
4-1-1-02	「まくべつ教育の日」の推進
4-1-1-03	「学び隊」の開設

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
家庭教育を考える集い（町P連研究大会）開催参加者数（人）		122	156	145
「まくべつ教育の日」の推進		○	○	○
「学び隊」の開設参加者数（人）		144	148	102
参考事項	幕別町PTA連合会の事業の中で、より多くの保護者に家庭教育について考える機会を提供していくこととした。（家庭教育学級への援助は平成22年度をもって発展的に廃止した。）「まくべつ教育の日」に関しては、各学校の積極的な取組により家庭や地域に浸透しつつある。「学び隊」への参加者数も増加している。			

○ データ

■ 家庭教育を考える集い講演会（幕別町PTA連合会 研究大会）

平28	演題「チーム力の育み方」 講師 西村 淳 氏（南極料理人）
平29	演題「会社経営からみた子供・若者」 講師 鈴木 享 氏（十勝三菱自動車販売㈱代表取締役社長）
平30	演題「輝くいのちのために～性といのちを考える～」 講師 山本 文子 氏（いのち咲かせたい代表・助産師）

○ 事業の推進状況

事業	家庭教育を考える集い（町P連研究大会）
現状と成果	幕別町PTA連合会と合同で外部から講師を招いて開催し、家庭教育の重要性について考える場を提供していくことが浸透し一定の成果があった。なお、平成22年度をもって家庭教育学級への援助を発展的に廃止し、家庭教育を考える集いでより多くの保護者に提供している。
今後の課題	引き続き家庭教育に関心の低い保護者に対して、家庭教育について考えてみるきっかけを提供する必要がある。
今後の対応	幕別町PTA連合会の事業の中で、家庭教育の重要性について考える場を提供していく。

事業	「まくべつ教育の日」の推進
現状と成果	毎月19日を「まくべつ教育の日」とし、家庭と学校、地域の結びつきについて情報を発信している。
今後の課題	学校等を通じて保護者には一定程度の周知できたが、その他の住民への浸透が不足している。
今後の対応	次世代の青少年の教育に関する取り組みを町民全体で進めるため、毎月19日を「まくべつ教育の日」と定め、家庭・地域・学校の三者で教育に対する意識の向上を図る。

事業	「学び隊」の開設
現状と成果	地域のボランティア講師の協力により、小学4～6年生の長期休業中の居場所づくりと自主学習の支援をするため開設した。
今後の課題	ボランティア講師の高齢化、学び隊参加対象学年と学童保育所通所児童の重複による参加者の減少。
今後の対応	長期休業中の居場所づくりと自主学習の支援を継続して実施する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
39

総合計画に基づく体系	節	4	青少年の健全育成の推進
	主要施策	1	青少年の健全育成
	施策の方向	2	自然体験やボランティア活動など多様な経験を通し、豊かな人間性を育てます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

4-1-2-01	ふるさと館ジュニアスクールの開講
4-1-2-02	ジュニアサタデースクール事業
4-1-2-03	子ども会活動の支援
4-1-2-04	社会貢献活動の推進

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
ふるさと館ジュニアスクール参加人数（人）		14	22	21
ジュニアサタデースクール参加人数（人）		27	14	雨天中止
子ども会活動回数（回）		24	24	24
社会貢献活動の推進		○	○	○
参考事項	各事業において、自然体験など様々な体験活動が行われた。また、ボランティア活動も各活動の中で取り入れられている。いずれも小学生を対象とした事業であるため、今後は中学生などへの働きかけが課題となる。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
ふるさと館ジュニアスクール研修回数（回）	12	9	10
子ども会育成連絡協議会補助金（千円）	840	840	840

○ 事業の推進状況

事業	ふるさと館ジュニアスクールの開講
現状と成果	小学校5、6年生を対象（毎年新5年生を募集）に、2年間で学校ではできない体験学習を行うことができた。
今後の課題	ここ数年応募者が横ばい傾向にあるため、更に活動内容の周知を積極的に行う必要がある。
今後の対応	今後も、自然体験や昔の道具を使った体験学習などを通じて、地域の生活や文化に対する理解を深めるとともに、自立心や協調性などを育むため、「ジュニアスクール」を開講する。
事業	子ども会活動の支援
現状と成果	全町の子ども達を対象とした体験活動が活発に行われた。
今後の課題	体験活動をサポートする指導者の育成と、参加する子どもの掘り起こしが必要となる。
今後の対応	引き続き、小学生の健全育成を図るため、子供会まつりや宿泊研修、スポーツ大会などを展開する子ども会の活動を支援するとともに、時代にあった事業等に関する情報提供を行う。
事業	社会貢献活動の推進
現状と成果	児童生徒のエコキャップやリングプルの回収、募金活動などに対して、幕別町児童生徒健全育成推進委員会による「善行賞」の表彰により、社会貢献活動推進の一助となっている。
今後の課題	更なる児童生徒の自発的な取り組みが求められる。
今後の対応	引き続き、児童生徒の自発的な取り組みによるエコキャップやリングプルの回収、募金活動などを通じて、資源や環境の大切さ、貧困について考えるなど、ともに支え合う心の醸成を図るとともに、情報提供を通じて、高校生によるボランティア等の社会貢献活動を推進する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
40

総合計画に基づく体系	節	4	青少年の健全育成の推進
	主要施策	1	青少年の健全育成
	施策の方向	3	家庭、地域、学校、関係機関の連携を図り、「幕別町PTA連合会」や「幕別町児童生徒健全育成推進委員会」のほか、子ども会などの活動に対して支援を行い、青少年の健全育成を推進します。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

4-1-3-01	児童生徒健全育成推進委員会活動の支援
4-1-3-02	4地区生活指導連絡協議会活動の支援
4-1-3-03	幕別町PTA連合会活動の支援
4-1-3-04	地域学校協働活動の推進

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
児童生徒健全育成推進委員会の開催		○	○	○
4地区生徒指導連絡協議会（活動回数）（回）		27	27	27
幕別町PTA連合会活動		○	○	○
学校支援地域本部事業対象学校数（校）		8	8	7
参考事項	各団体において、それぞれが家庭、地域、学校と連携し、団体ごとに関連性を持って活動することができた。			

○ データ

項目	平28	平29	平30
児童生徒健全育成推進委員会交付金（千円）	550	550	550
生徒指導連絡協議会交付金（千円）	420	420	420
PTA連合会活動費補助金（千円）	485	485	485

○ 事業の推進状況

事業	児童生徒健全育成推進委員会活動の支援
現状と成果	交付金による支援により、青少年の健やかな成長に向けた活動が行われている。なお、平成24年度からは、青少年問題協議会の持っていた機能の一部を取り入れた。
今後の課題	委員会の更なる活発な活動が必要である。
今後の対応	今後、健全育成の標語募集及び表彰、交通安全街頭啓発、善行賞の募集及び表彰、危険箇所への巡視など、青少年の健やかな成長を目的に活動している「児童生徒健全育成推進委員会」の活動に支援する。

事業	4地区生活指導連絡協議会活動の支援
現状と成果	交付金による支援により、幕別、礼内、南幕別、忠類のそれぞれの地域において設置されている「生活指導連絡協議会」でさまざまな問題について連携を取りながら、解決にむけて活動が行われている。
今後の課題	協議会の活発な活動及び一層の連携が必要である。
今後の対応	それぞれの地域において設置されている「生活指導連絡協議会」を通じて、子どもや親子、家庭を取り巻きさまざまな問題について、学校の枠を越えて連携を取りながら解決を図るための活動が継続するよう支援を行う。

事業	幕別町PTA連合会活動の支援
現状と成果	補助金の支援により、学校と家庭をつなぐ活動と相互の情報交換が行われている。
今後の課題	連合会の活発な活動及び一層の連携が必要である。
今後の対応	保護者と教職員が協力して一体的に活動しているPTA連合会の活動を支援することで、学校・家庭・社会における児童の健全な育成を図るための活動及び研修事業等の中で、より多くの保護者に家庭教育について考える機会の提供が引き続き継続するよう支援を行う。

事業	地域学校協働活動の推進
現状と成果	多くのボランティアの協力により、地域全体で、学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化が図られた。
今後の課題	各学校関係者や地域の団体、地域住民等のボランティア等との連携。
今後の対応	今後も、学校の授業補助、本の読み聞かせなど、学校、家庭、地域の連携を強化することにより、多様な学習機会の増加や、規範意識、コミュニケーション能力の向上を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
41

総合計画に基づく体系	節	5	芸術・文化活動の振興
	主要施策	1	芸術・文化活動の支援と人材育成
	施策の方向	1	文化・芸術に関する学習の成果を発表。鑑賞する機会を提供する文化協会や町民芸術劇場などの団体を支援し、リーダーの育成とともに自主的な活動を促進します。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

5-1-1-01	まくべつ町民芸術劇場の支援
5-1-1-02	幕別町文化協会の支援
5-1-1-03	サークル活動の推進

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
まくべつ町民芸術劇場の支援		○	○	○
幕別町文化協会の支援		○	○	○
生涯学習講座からのサークル立ち上げ（団体）		1	0	1
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
町民芸術劇場公演回数（回）	23	18	27
まくべつ町民芸術劇場交付金（千円）	5,240	5,240	5,240
幕別町文化協会補助金（千円）	336	336	316

○ 事業の推進状況

事業	まくべつ町民芸術劇場の支援
現状と成果	町からの交付金で、あらゆるジャンルの公演を提供でき、様々な世代の町民に芸術鑑賞機会の充実を図っている。
今後の課題	定員に満たない公演もあることから、安定した事業開催が課題である。
今後の対応	今後も、町民への学術、芸術、文化の提供を行う「まくべつ町民芸術劇場」の支援を通じて、芸術・文化の普及と各種芸術・文化団体のネットワークを形成し、地域に根ざした芸術文化の振興を図る。
事業	幕別町文化協会の支援
現状と成果	一般住民も参加して芸術祭を開催している。
今後の課題	若手リーダーの育成。
今後の対応	今後も「まくべつ芸術祭」をはじめとする芸術・文化の普及事業を行う「幕別町文化協会」を支援することにより、本町の文化・芸術の向上と振興を図る。
事業	サークル活動の推進
現状と成果	生涯学習講座受講生で更に活動を続けていきたい方々にサークルの設立を促し、継続した活動の支援を行っている。
今後の課題	サークルの設立に向け、的確なアドバイスをできるように指定管理者と協力を図る。
今後の対応	百年記念ホールなどで行っている生涯学習講座の受講をきっかけに新たなサークルの立ち上げを支援することで、より多様な学習機会の提供を行う。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
42

総合計画に基づく体系	節	5	芸術・文化活動の振興
	主要施策	1	芸術・文化活動の支援と人材育成
	施策の方向	2	芸術・文化活動が積極的に展開されるよう、本町の芸術・文化の拠点的施設である「百年記念ホール」をはじめ、公共施設の活用を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

5-1-2-01	公共施設活用（文化施設を除く）

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
公共施設活用（文化施設を除く）	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	公共施設活用（文化施設を除く）
現状と成果	各公共施設において、地域住民の芸術作品の展示、文化活動の利用を行っている。
今後の課題	会員の高齢化により展示会を開催する団体が減少している。
今後の対応	今後も、文化施設以外の公共施設を地域住民の芸術作品の展示や文化活動の場として提供することにより、芸術・文化の振興による創造性豊かな地域づくりの推進を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
43

総合計画に基づく体系	節	5	芸術・文化活動の振興
	主要施策	2	芸術・文化事業の推進
	施策の方向	1	町出身の芸術家や芸術・文化を愛する町民の作品等を発表する機会を設けるなど、芸術・文化のさらなる振興発展を促進します。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

5-2-1-01	芸術・文化愛好者等のネットワークづくりの推進
5-2-1-02	図書館ふらっとあ〜と
5-2-1-03	町民絵画展

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
ネットワークづくりの推進		○	○	○
作品等の紹介事業		○	○	○
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
図書館ふらっとあ〜と開催数(回)	6	7	2
まくべつ絵画展出展数(作品)	47	48	50

○ 事業の推進状況

事業	芸術・文化愛好者等のネットワークづくりの推進
現状と成果	百年記念ホールの文化芸術事業を通じて、NPO法人町民芸術劇場会員を中心として、様々な芸術・文化愛好者等のネットワークづくりを推進している。
今後の課題	芸術・文化愛好者等のネットワークづくりの支援まで至っていない。
今後の対応	今後も、文化、芸術などの既存の枠組みにとらわれず、合同で発表会を開催するなど、より多くの芸術・文化の愛好者や様々な団体との交流・連携により、多様で活力ある展開を図るためのネットワークづくりを進める。

事業	図書館ふらっとあ〜と
現状と成果	図書館の空きスペースを活用し、地元の芸術家や文化人の作品等を展示している。
今後の課題	1年を通しての展示が行われると、より推進を図ることができる。
今後の対応	今後も、図書館の空きスペースを地元の芸術家や文化人の作品展示スペースとして開放することにより、芸術・文化の振興を図る。

事業	町民絵画展
現状と成果	地元芸術家の発表の機会の場を創出するため、毎年、絵画展を開催している。
今後の課題	新たな芸術家の把握が必要。
今後の対応	今後も、地元芸術家の作品の発表の機会を創出するため、百年記念ホールギャラリー等を活用した展示スペースの拡大を図る。(まくべつ町民芸術劇場自主事業)

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
44

総合計画に基づく体系	節	5	芸術・文化活動の振興
	主要施策	3	芸術・文化鑑賞機会の拡充
	施策の方向	1	子どもや初心者にも配慮した文化講座、教室を開催するとともに、町民が生涯を心豊かに過ごすため、優れた芸術・文化を体感できる鑑賞機会の提供に取り組みます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

5-3-1-01	芸術・文化公演事業
5-3-1-02	文化講演会及び生涯学習特別講演会の開催
5-3-1-03	学校芸術鑑賞事業

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
町民芸術劇場公演回数（回）	23	18	27
文化講演会開催数（回）	2	2	2
生涯学習特別講演会（忠類）（回）	1	2	3
学校芸術鑑賞事業	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
町民芸術劇場公演入場者数（人）	9,597	6,076	13,457
文化講演会入場者数（人）	1,197	979	494
生涯学習特別講演会入場者数（忠類）（人）	52	135	85
学校芸術鑑賞演目	演劇鑑賞	古典芸能（歌舞伎）	音楽鑑賞
学校芸術鑑賞参加者数（人）	2,557	2,541	2,450

○ 事業の推進状況

事業	芸術・文化公演事業
現状と成果	町民芸術劇場への交付金で、あらゆるジャンルの公演を提供でき、様々な世代の町民に芸術鑑賞機会の充実を図っている。
今後の課題	たくさんの情報を収集した上で、より多くの住民のニーズを把握し演目を決定する必要がある。
今後の対応	今後も、百年記念ホールなどを活用して、より多くの町民に国内外の優れたアーティストを生で体感できる鑑賞の機会を提供することにより、町民の文化・芸術に対する関心を広めるとともに、芸術・文化の振興を図る。また、そのため、町民芸術劇場とより綿密な情報交換に努めるとともに支援を行う。

事業	文化講演会及び生涯学習特別講演会の開催
現状と成果	生涯に渡り学べる環境の提供ができた。
今後の課題	更に多くの方が参加できるように、住民のニーズに対応した講座の開設と、きめ細やかな情報提供が求められている。
今後の対応	今後も、生涯にわたって、いつでも、どこでも学習することができることを基本として生涯学習を進めていくための学習機会の場を提供する。

事業	学校芸術鑑賞事業
現状と成果	音楽、観劇、古典芸能の順で毎年実施し、間近で鑑賞する機会を提供している。
今後の課題	一部の学校での児童数増加により、バスの送迎時間の関係から給食配膳時間の変更等の調整を要する。
今後の対応	今後も引き続き、百年記念ホールにおいて、町内の小中学生にすぐれた芸術鑑賞（音楽、演劇、古典芸能）の機会を提供することで、芸術・文化のすばらしさや楽しさを体験することができるのと同時に、教養を高め、豊かな情操の育成を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
45

総合計画に基づく体系	節	6	歴史的文化の保存・伝承
	主要施策	1	施設の充実
	施策の方向	1	歴史的資料を適切に保存し、公開施設の整備・改修等、充実を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

6-1-1-01	忠類ナウマン象記念館の充実
6-1-1-02	幕別町ふるさと館の充実
6-1-1-03	幕別町蝦夷文化考古館の充実

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
	ナウマン象記念館来館者数（人）	11,518	13,868	12,133
	ふるさと館来館者数（人）	1,513	1,666	988
	蝦夷文化考古館来館者数（人）	298	231	347
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	忠類ナウマン象記念館の充実
現状と成果	特別展を開催するなど展示物等の整備充実を図っている。
今後の課題	更なる施設のPR。
今後の対応	道内の博物館などの協力を得る中で特別展を開催するなど、展示物の充実を図るとともに、より多くの来館者を呼び込むための方法について検討する。
事業	幕別町ふるさと館の充実
現状と成果	郷土文化研究員を配置し特別展示、アイヌ収蔵品の整理等を行っている。
今後の課題	施設の老朽化と収蔵品の整理及び事業委員会委員の高齢化や減少傾向が課題である。
今後の対応	歴史的かつ貴重な収蔵品を、入館者の関心を引くような展示方法を検討するなどにより、対外的にアピールできるような資料館づくりを進める。また、大規模改修を含めた施設整備を検討する。
事業	幕別町蝦夷文化考古館の充実
現状と成果	郷土文化研究員の配置により、来館者への展示資料等の説明を行っている。
今後の課題	施設の老朽化と収蔵品の整理。
今後の対応	引き続き、アイヌ文化の貴重な資料の保存、展示を行う。また、建物の老朽化が著しく、貴重な資料を適切に管理し保存するため、施設の整備について検討する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
46

総合計画に基づく体系	節	6	歴史的文化の保存・伝承
	主要施策	2	歴史的文化の保存・継承と活用
	施策の方向	1	地域文化の保存と伝承を担う人材の育成を支援するとともに、本町の歴史を伝承する活動の充実を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

6-2-1-01	糠内獅子舞保存会への支援
6-2-1-02	ナウマン太鼓保存会への支援

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
糠内獅子舞保存会会員数（人）		29	29	29
ナウマン太鼓保存会会員数（人）		8	8	8
参考事項	糠内獅子舞は明治37年に地域の神社建立にあたり奉納されたことを始まりとして地域に伝えられている。その後15年ほどで一時途絶えてしまうが、昭和18年頃に再開し、それ以降現在まで人材を育てながら活動を続け、現在に至っている。 ナウマン太鼓は旧忠類村（現幕別町忠類地区）の有志が、ナウマン象発掘（昭和44年）を機に村唯一の郷土芸能として考案。昭和52年には保存会が発足した。大小の太鼓を使い6人で演奏。2部構成で、1部は雷雨や風、ナウマン象の足音など、2部は発掘風景などを振りをつけて表現している。忠類地区の小・中学校でも授業やクラブで取り組んでいる。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
文化財保存補助金（糠内獅子舞保存会）（千円）	95	95	95
文化財保存補助金（ナウマン太鼓保存会）（千円）	76	76	76

○ 事業の推進状況

事業	糠内獅子舞保存会への支援
現状と成果	糠内獅子舞保存会への補助金による支援により、幕別町指定文化財でもある富山県から伝わった獅子舞を現在まで伝承している。※平成23年度に、明治安田クオリティオブライフ財団から助成金を受け、獅子舞衣装及び篠笛購入を行った。
今後の課題	地域の若年層の人口減少により、人材の確保が困難になってきている。
今後の対応	今後も引き続き、本町の民俗文化財である「糠内獅子舞」を後世に伝えるため、保存活動をしている団体への支援を行う。

事業	ナウマン太鼓保存会への支援
現状と成果	ナウマン太鼓保存会に補助金による支援により、忠類地区内や本町でのイベントへの出演、忠類小・中でのクラブ活動に会員を派遣し、太鼓の指導が行われている。
今後の課題	地域の歴史的な伝承が途絶えないように、継続的な人材確保を行う必要がある。
今後の対応	今後も引き続き、忠類地域の伝統芸能「忠類ナウマン象太鼓」を後世に伝えるため、保存活動をしている団体への支援を行う。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
47

総合計画に基づく体系	節	6	歴史的文化の保存・伝承
	主要施策	2	歴史的文化の保存・継承と活用
	施策の方向	2	各種の資料をテーマに沿って展示・公開し、児童生徒や町民に郷土の歴史に触れる機会を設けるとともに、専門的知識を有する人材の活用・育成を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

6-2-2-01	郷土文化研究員の配置
6-2-2-02	ミニ歴史博物館の開設
6-2-2-03	指定文化財の保存
6-2-2-04	歴史の散歩道の活用

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
郷土文化研究員の配置	○	○	○
ミニ歴史博物館実施	○		
文化財指定数（種）	5	5	5
歴史の散歩道指定箇所数（箇所）	89	89	89
歴史の散歩道看板設置箇所数（箇所）	27	27	27
史跡めぐり（歴史の散歩道を歩く）参加者数（人）	31	31	11
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	郷土文化研究員の配置
現状と成果	平成18年度から、郷土文化研究員を配置し、郷土の歴史、民俗、芸術、文化及び産業並びにアイヌ民俗に関する資料を収集し、その資料を専門的に調査研究することに努め、もって、町民の郷土文化に対する理解を深め、幕別町の文化の振興に寄与している。
今後の課題	将来的な人材の確保。
今後の対応	今後も引き続き、郷土文化研究員の配置により、蝦夷文化考古館やふるさと館に保存・展示してある貴重な歴史的な収蔵物を適切に保存するとともに、後世にその資源を残し伝えるための調査・研究を行う。

事業	ミニ歴史博物館の開設
現状と成果	途別小学校にてふるさと館の資料を展示している。
今後の課題	展示物の更新と、説明資料の充実が課題である。
今後の対応	今後も、より多くの方に歴史的資料に関心を持ってもらうため、途別小学校や百年記念ホールの空きスペースを活用して、ふるさと館の資料を展示することで、歴史的資料に触れる機会を提供する。

事業	指定文化財の保存
現状と成果	現在、蝦夷文化考古館収蔵品、糠内獅子舞、札内N遺跡出土品、ヒカリゴケ、「どさんこ甚句・どさんこ舟唄」を町文化財に指定している。
今後の課題	活用・保存及び周知方法。
今後の対応	今後も引き続き、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた歴史上、学術上価値の高いものである文化財を適切に保存し、活用について検討する。

事業	歴史の散歩道の活用
現状と成果	本町の歴史として、『歴史の散歩道』を選定してきたが、活用することに重点を置き、史跡めぐり等の町民対象のツアーを開催し、史跡をたどることにより本町の歴史について、見つめなおす契機となった。
今後の課題	本町の歴史（歴史の散歩道）について興味を持っていただく必要がある。
今後の対応	歴史的、文化的史実等を後世に伝えるために指定した「歴史の散歩道」を、地域の歴史と文化に触れあうことができる、あるいは子供たちが郷土の歴史と文化を学習できるように活用を進める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
48

総合計画に基づく体系	節	6	歴史的文化の保存・伝承
	主要施策	3	アイヌ文化の保存振興と理解の促進
	施策の方向	1	アイヌ民族の歴史・文化などの調査研究を進め、その保存・伝承活動を支援します。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

6-3-1-01	安東ウメ子のアイヌ文化の伝承
6-3-1-02	吉田菊太郎目録の活用と新たな資料の作成
6-3-1-03	郷土文化研究員の配置

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
安藤ウメ子DVD及びCD売払	○	○	○
アイヌ文化収蔵目録売払	○	○	○
蝦夷文化考古館吉田菊太郎目録売払	○	○	○
郷土文化研究員の配置	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
安東ウメ子DVD売払数(枚)	3	4	2
安東ウメ子CD売払数(枚)	5	6	6
アイヌ民具資料目録売払数(冊)	6	5	5
蝦夷文化考古館吉田菊太郎目録売払数(冊)	8	10	15

○ 事業の推進状況

事業	安東ウメ子のアイヌ文化の伝承
現状と成果	アイヌ文化の優れた伝承者安東ウメ子さんの世界を後世に伝えるためDVD及びCDを制作し、販売を行っている。
今後の課題	より多くの方々に聞いていただくため広くPR活動が必要である。
今後の対応	引き続き、アイヌ文化の優れた伝承者である安東ウメ子さんの世界を後世に伝えるために作成したCD、DVDを提供する。

事業	吉田菊太郎目録の活用と新たな資料の作成
現状と成果	蝦夷文化考古館で収蔵される吉田菊太郎が収集した生活用品や民族資料について調査し資料を作成し、アイヌ文化を広く理解するための資料として活用されている。
今後の課題	未整理の民族資料の調査・資料化が必要である。
今後の対応	今後も、アイヌ文化伝承のために、吉田菊太郎資料目録である「アイヌ民族文化遺産集」と「文書資料編」を活用するとともに、未整理の民族資料の調査・研究を進める。

事業	郷土文化研究員の配置
現状と成果	平成18年度から、郷土文化研究員を配置し、郷土の歴史、民俗、芸術、文化及び産業並びにアイヌ民俗に関する資料を収集し、その資料を専門的に調査研究することに努め、もって、町民の郷土文化に対する理解を深め、幕別町の文化の振興に寄与している。
今後の課題	将来的な人材の確保。
今後の対応	今後も引き続き、郷土文化研究員の配置により、蝦夷文化考古館やふるさと館に保存・展示してある貴重な歴史的な収蔵物を適切に保存するとともに、後世にその資源を残し伝えるための調査・研究を行う。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
49

総合計画に基づく体系	節	6	歴史的文化の保存・伝承
	主要施策	3	アイヌ文化の保存振興と理解の促進
	施策の方向	2	町民がアイヌの人々や文化について理解を深めるため、学習機会の提供に努めます。

担当課係名
生涯学習課
社会教育係

○ 事業

6-3-2-01	ふるさと館及び蝦夷文化考古館での収蔵物の展示
6-3-2-02	アイヌの歴史の社会科副読本への掲載

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
ふるさと館及び蝦夷文化考古館での収蔵物の展示	○	○	○
アイヌの歴史の社会科副読本への掲載	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	ふるさと館及び蝦夷文化考古館での収蔵物の展示
現状と成果	郷土文化研究員の配置により、来館者への展示資料等の説明を行っている。
今後の課題	収蔵品の整理。
今後の対応	今後も、アイヌ文化を多くの人に理解してもらうため、ふるさと館や蝦夷文化考古館でアイヌ文化の収蔵品の展示を行うとともに、郷土文化研究員やふるさと館事業委員による来館者への資料説明を行う。
事業	アイヌの歴史の社会科副読本への掲載
現状と成果	小学3、4年生社会科副読本へ「アイヌの人たちの暮らし」を掲載している。
今後の課題	副読本の更なる活用が必要である。
今後の対応	社会科副読本に「アイヌの人たちの暮らし」を掲載し、小学3、4年生の郷土学習において活用する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
50

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	施策の方向	1	個々の運動能力に応じた体力づくり講座、各種講習会などの開催を通じて、あらゆる人がスポーツ・レクリエーションに親しめる機会の充実を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-1-1-01	体力づくりの指導と健康講座
7-1-1-02	スポーツ・レクリエーション機会の提供
7-1-1-03	チャレンジデーの実施

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
体力づくり講座回数と参加者数	444回5,081人	442回5,576人	433回5,434人
リフレッシュ教室回数と延参加者数	4回52人	2回36人	3回46人
ジュニア初心者水泳教室延参加者数(人)	27	69	47
ちびっこ水泳教室延参加者数(人)	83	56	38
スケート教室延参加者数(幕別・忠類)(人)	94	99	108
ちびっこスキー教室延参加者数(人)	74	60	雪不足のため中止
初心者スキー教室延参加者数(人)	15	雪不足のため中止	雪不足のため中止
ジュニアスキー教室延参加者数(人)	56	36	雪不足のため中止
チャレンジデー参加率(%)	37.4	51.1	59.5
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30

○ 事業の推進状況

事業	体力づくりの指導と健康講座
現状と成果	機器の使い方や効果的な運動法の直接指導を通して、講座が町民の健康生活の形成に寄与している。
今後の課題	健康講座等は指定管理者で実施するため、指導員の確保と参加者の確保に向けた事業の充実が課題である。
今後の対応	今までの健康講座の内容を評価するとともに、住民のニーズの高い健康講座を実施できるよう、指定管理者とともに協議する。

事業	スポーツ・レクリエーション機会の提供
現状と成果	スポーツやレクリエーションを無理なく、楽しみながらに親しんでもらえるように、ウォークラリーやリフレッシュ教室を開催して心身のリフレッシュを図る。
今後の課題	参加者の確保と種目の充実が課題である。
今後の対応	引き続きスポーツ推進委員会と連携しながら、魅力あるウォークラリーやリフレッシュ教室の継続を図る。

事業	チャレンジデーの実施
現状と成果	町民のスポーツへの参加のきっかけや健康づくり、地域コミュニティの促進、住民の連携感の醸成など、スポーツを通じたまちづくりに寄与する。
今後の課題	参加者の確保が課題である。
今後の対応	参加率アップのため、更なる広報活動が必要である。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
51

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	施策の方向	2	スポーツ教室や施設、大会案内など、スポーツ・レクリエーションに関する情報提供の充実を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-1-2-01	スポーツ講座開催等の情報提供

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
広報・ホームページの掲載	○	○	○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
広報の掲載(回)	12	12	12
ホームページの掲載	通年	通年	通年

○ 事業の推進状況

事業	広報・ホームページの掲載
現状と成果	町の広報・インターネットを利用した各種のスポーツ講座及びスポーツ教室の情報提供を行っている。
今後の課題	町民のニーズに応じたスポーツ情報の提供が課題である。
今後の対応	町内の各種スポーツ競技団体の事業及び大会等、イベント情報の充実を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
52

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	施策の方向	3	町出身のアスリートやスポーツ団体との連携により各種大会やイベント、合宿誘致などを通し、スポーツに対する意識を向上させるとともに、次世代のオリンピックアスリートの育成を進めます。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-1-3-01	未来のオリンピック選手を育てる事業
7-1-3-02	スポーツ合宿・大会の誘致
7-1-3-03	町民と考えるオリンピックの町ワークショップ

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
未来のオリンピックを育てる事業		○	○	○
スポーツ合宿・大会の誘致				○
町民と考えるオリンピックの町ワークショップ開催回数（回）				○
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
未来のオリンピックを育てる事業の数と参加者数	5事業569人	7事業353人	5事業287人
スポーツ合宿・大会の受入人数（人）	17	118	299
町民と考えるオリンピックの町ワークショップ開催回数（回）			3

○ 事業の推進状況

事業	未来のオリンピック選手を育てる事業
現状と成果	町内の子どもたちに現役オリンピック選手と触れ合う機会を提供するなどスポーツを推進する事業を実施する。
今後の課題	事業を通じて、スポーツの関心・興味を感じることができる内容の充実が課題である。
今後の対応	普段からスポーツの関心・興味が無い子どもたちに、身近でオリンピックに触れ合える体験を実施するとともに、オリンピックの情報発信の強化を図る。また、今年から連携協定を締結している「日本体育大学」と連携を図り、オリンピックの輩出要因分析や指導者研修等の事業を展開する。

事業	スポーツ合宿・大会の誘致
現状と成果	町の運動施設と地域資源を活かした「オリンピックの町」を持続していくために、年齢や障がいの有無を問わず幅広いスポーツ交流人口の拡大につなげるため、スポーツ合宿・大会の誘致を図る。
今後の課題	合宿や大会を受け入れるための施設・機器・情報が適切に配備・運営された一元的な受入体制と合宿・大会誘致のためのマネジメントが十分でない状況である。
今後の対応	町出身のオリンピック選手やプロスポーツ団体と連携して町の特徴を生かした情報発信を行うなど選手と住民との交流を重視した合宿誘致マネジメント体制を構築する。

事業	町民と考えるオリンピックの町ワークショップ
現状と成果	平成30年度から展開している「アスリートと創るオリンピックの町創生事業」を継続していくために、町民が運動・スポーツを見る・する・応援することができる環境づくりが必要であることから、スポーツや行政と接点の少ない人を含めた意見を汲みとる場として、ワークショップを実施する。
今後の課題	町民一人ひとりがスポーツに関わるために、ワークショップが行政への要望に終始しない議論の展開が必要である。
今後の対応	町民一人ひとりがスポーツに関わり、「オリンピックの町」として誇れるまちとするため、町民と一緒にスポーツを軸としたまちづくりを考えるとともに、自分たち（個人や地域）ができることから考えることで、今後の政策や事業をより効率的・効果的に推進する。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
53

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	2	指導者・組織の育成と支援
	施策の方向	1	体育連盟やスポーツ少年団をはじめ、町民の自主的な運営による「総合型地域スポーツクラブ」の支援を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-2-1-01	新たなサークル設立の推進
7-2-1-02	スポーツ関係団体の支援

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
総合型地域スポーツクラブに関する情報提供		○	○	○
スポーツクラブとの情報交換		○	○	○
スポーツ推進委員会との連携		○	○	○
参考事項	平成22年2月26日正式に「総合型スポーツクラブ」に認定され、「幕別札内スポーツクラブ」となる。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
体育連盟加盟団体数（団体）	32	32	32
スポーツ少年団団体数（団体）	38	36	36

○ 事業の推進状況

事業	新たなサークル設立の推進
現状と成果	自主的に運営するサークルの設立に向けた支援と情報提供を行う。
今後の課題	新たなスポーツ団体設立のための情報の発信等が必要である。
今後の対応	スポーツ団体設立に向けた相談・更なる情報提供に努める。
事業	スポーツ関係団体の支援
現状と成果	体育連盟やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ団体の支援を行うとともに、自主運営の促進を図る。
今後の課題	スポーツ団体支援のため、情報提供が必要である。
今後の対応	スポーツ団体支援に向けた更なる情報提供に努める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
54

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	2	指導者・組織の育成と支援
	施策の方向	2	スポーツ・レクリエーション指導者や団体に対して情報提供の充実を努め、指導者の養成に図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-2-2-01	スポーツ指導者の養成等に関する情報の提供

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
体育連盟・スポーツ少年団の指導者に関する情報の提供		○	○	○
スポーツ推進委員の研修会参加		○	○	○
参考事項	平成18年に幕別・忠類両体育連盟が、平成19年に幕別・忠類両スポーツ少年団がそれぞれ合併。			

○ データ

項目	H28	H29	H30
スポーツ推進委員の研修回数（回）	2	2	3
スポーツ推進委員数（人）	12	12	12

○ 事業の推進状況

事業	スポーツ指導者の養成等に関する情報の提供
現状と成果	現状では、体育連盟、スポーツ少年団等の指導者研修会・講習会に関する情報の提供は、主に指導者が所属する団体の詳細を把握しているため、行政側は、関連情報の提供に努めている。
今後の課題	体育連盟・スポーツ少年団の加盟団体に対し、より効果のある情報提供の方法を図って行く。
今後の対応	引き続き、指導者の養成に伴う研修会・講習会の関連情報の提供に努める。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
55

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	3	社会体育施設の整備充実と有効活用
	施策の方向	1	社会体育施設の計画的な環境整備を進めるとともに、効率的かつ効果的な管理運営と機能充実を推進します。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-3-1-01	町民プールの施設整備
7-3-1-02	社会体育施設の整備

○ 評価指標

評価指標の項目	H28	H29	H30
町民（幕別、東、南、北、糠内）プール濾過機修繕	○	○	○
札内東プール濾過循環配管（還り管）修繕	○		
札内南プール濾過機修繕		○	
札内スポーツセンターテニスコート大規模改修			○
札内川河川緑地テニスコートクラック補修			○
参考事項			

○ データ

項目	H28	H29	H30
幕別町民プール利用者数（人）	5,885	6,099	5,511
札内東町民プール利用者数（人）	2,430	3,537	2,148
糠内町民プール利用者数（人）	616	624	454
札内南町民プール利用者数（人）	7,398	8,409	8,083
札内北町民プール利用者数（人）	3,127	3,527	2,999
忠類町民プール利用者数（人）	2,914	1,579	1,404
農業者トレーニングセンター利用者数（人）	32,835	33,110	31,417
札内スポーツセンター利用者数（人）	96,694	95,236	96,226
忠類体育館利用者数（人）	8,099	8,438	6,636
幕別運動公園野球場利用者数（人）	3,715	3,795	3,871
依田公園野球場利用者数（人）	2,954	2,055	2,542
幕別運動公園陸上競技場利用者数（人）	4,466	5,807	3,871

○ 事業の推進状況

事業	町民プールの施設整備
現状と成果	老朽化が著しい札内東町民プールの整備に向け、今後の札内地区における町民プールのあり方について、統合型プールの整備を含めた検討を進めている。
今後の課題	民間活力を活用した建設手法の情報収集及び住民合意形成が必要。
今後の対応	引き続き建設手法の情報収集及び住民合意形成に努める。

事業	社会体育施設の整備
現状と成果	陸上競技場や野球場、スポーツセンターなど町民が気軽にスポーツなどを楽しむことができる環境が整備されている。
今後の課題	ほとんどの社会体育施設が20年以上経過しているため、年々維持管理・修繕費用が嵩んでいる。
今後の対応	社会体育施設の長寿命化における施設整備計画を策定するとともに、計画的な施設整備と施設の機能充実を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
56

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	3	社会体育施設の整備充実と有効活用
	施策の方向	2	学校体育施設の開放による有効活用を進めます。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-3-2-01	学校体育施設の活用

○ 評価指標

評価指標の項目 (主な施設を掲載)	H28	H29	H30
学校開放対象施設数 (校)	7	6	6

参考事項	
------	--

○ データ

項目	H28	H29	H30
学校体育施設使用日数 (延べ日数)	930	860	860
学校体育施設利用者数 (人)	15,766	13,715	12,627

○ 事業の推進状況

事業	学校体育施設の活用
現状と成果	利用団体が増えている中で、社会体育施設で対応できない部分において学校体育施設の有効活用が図られている。
今後の課題	利用団体が多く、新規団体が利用しにくい状況となっている。
今後の対応	利用団体の調整を図りつつ、学校体育施設の有効活用を図る。

幕別町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価書

整理番号
57

総合計画に基づく体系	節	7	健康づくりとスポーツ活動の振興
	主要施策	4	パークゴルフの振興
	施策の方向	1	パークゴルフの発祥の地として、国内外への情報発信に努めるとともに、日本パークゴルフ協会や様々な分野と連携しながら、一層の振興を図ります。

担当課係名
生涯学習課
社会体育係

○ 事業

7-4-1-01	パークゴルフ関係団体との連携
7-4-1-02	クマゲラハウスの環境整備
7-4-1-03	パークゴルフ家族大会の開催

○ 評価指標

評価指標の項目		H28	H29	H30
クマゲラハウス内の修繕		○	○	○
パークゴルフ家族大会参加者数（人）		63	39	44
参考事項				

○ データ

項目	H28	H29	H30
クマゲラハウスの利用者数（人）	5,926	7,775	6,394

○ 事業の推進状況

事業	パークゴルフ関係団体との連携
現状と成果	日本パークゴルフ協会・幕別パークゴルフ協会はもとより、町内にあるパークゴルフ用具を製造している企業等との連携や情報交換を行う中で、より一層のパークゴルフの振興を図る。
今後の課題	パークゴルフ団体との更なる連携を図るよう努めていく。
今後の対応	パークゴルフ振興に向け、パークゴルフ団体との各種大会での連携を図る。
事業	クマゲラハウスの環境整備
現状と成果	クマゲラハウスは、プレーヤーの休憩場として利用されている。また、本町をはじめ周辺の観光・物産のパンフレット及び特産品の展示も行なっており、利用者から好評を得ている。
今後の課題	パークゴルフの発祥の地として、毎年、管内外から大勢のプレーヤーが訪れているため、利用者の憩いの場と町観光情報発信の場として適切な環境づくりに努めていく。
今後の対応	日本パークゴルフ協会・町パークゴルフ協会、町商工観光課と連携しながらクマゲラハウスの一層の活用を図る。
事業	パークゴルフ家族大会の開催
現状と成果	パークゴルフ30周年（H25）を契機として、パークゴルフを通じた3世代交流を進めるために家族大会を継続的に開催し、将来を見据え若者を中心とした交流人口の増加を図る。
今後の課題	参加者の確保が課題である。
今後の対応	若年層の参加者を増やすため、更なる広報活動を図るとともに、大会内容を見直す必要がある。